

# Dell PowerEdge M420 システム オーナーズマニュアル

規制モデル：QHB  
規制タイプ：QHB Series



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 11

Rev. A02

# 目次

<b>1 システムについて.....</b>	<b>7</b>
概要.....	7
前面パネルの機能とインジケータ.....	8
ソリッドステートドライブ (SSD) の機能.....	8
USB ディスケットまたは USB DVD/CD ドライブの使用.....	10
iKVM へのアクセス.....	10
その他の情報.....	10
<b>2 セットアップユーティリティとブートマネージャの使い方.....</b>	<b>12</b>
システム起動モードの選択.....	12
セットアップユーティリティの起動.....	13
エラーメッセージへの対応.....	13
セットアップユーティリティナビゲーションキーの使い方.....	13
セットアップユーティリティのオプション.....	14
セットアップユーティリティのメイン画面.....	14
System BIOS (システム BIOS) 画面.....	14
System Information (システム情報) 画面.....	15
メモリ設定画面.....	15
Processor Settings (プロセッサ設定) 画面.....	16
Boot Settings (起動設定) 画面.....	18
内蔵デバイス画面.....	18
Serial Communications (シリアル通信) 画面.....	19
システムプロファイル設定画面.....	20
System Security (システムセキュリティ) 画面.....	21
Miscellaneous Settings (その他の設定) .....	22
システムパスワードとセットアップパスワードの機能.....	23
システムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの割り当て.....	23
システムを保護するためのシステムパスワードの使い方.....	24
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	25
セットアップパスワード使用中の操作.....	25
UEFI ブートマネージャの起動.....	26
ブートマネージャのナビゲーションキーの使い方.....	26
ブートマネージャ画面.....	26
UEFI Boot Menu (UEFI 起動メニュー) .....	27
Embedded System Management (組み込みシステム管理) .....	27
iDRAC 設定ユーティリティ.....	28
iDRAC 設定ユーティリティの起動.....	28

<b>3 ブレードコンポーネントのインストール</b> .....	<b>29</b>
奨励するツール.....	29
スリーブの取り外しと取り付け.....	29
スリーブの取り外し.....	29
スリーブの取り付け.....	30
ブレードの取り外しと取り付け.....	31
ブレードの取り外し.....	31
ブレードの取り付け.....	31
ブレードの内部.....	32
I/O モジュールのメザニンカード.....	32
メザニンカードの取り付けガイドライン.....	32
メザニンカードの取り外し.....	33
メザニンカードの取り付け.....	34
LOM ライザーカード.....	35
LOM ライザーカードの取り外し.....	35
LOM ライザーカードの取り付け.....	35
ソリッドステートドライブ (SSD) .....	36
ソリッドステートドライブ (SSD) の取り外し.....	36
ソリッドステートドライブ (SSD) の取り付け.....	37
ソリッドステートドライブ (SSD) の保守のためのシャットダウン手順.....	37
起動ドライブの設定.....	37
SSD を SSD キャリアから取り外す手順.....	37
SSD を SSD キャリアに取り付ける手順.....	38
ソリッドステートドライブ (SSD) バックプレーン.....	38
SSD バックプレーンの取り外し.....	38
SSD バックプレーンの取り付け.....	39
プロセッサ .....	40
プロセッサの取り外し.....	40
プロセッサの取り付け.....	42
NVRAM backup battery.....	44
NVRAM バックアップバッテリーの交換.....	44
システム基板.....	45
ブレードのシステム基板の取り外し.....	45
ブレードのシステム基板の取り付け.....	46
Processor/DIMM blank.....	47
プロセッサ /DIMM のダミーの取り外し.....	47
プロセッサ /DIMM のダミーの取り付け.....	47
System memory.....	48
メモリモジュール取り付けガイドライン.....	49
モードごとのガイドライン.....	50
メモリ構成の例.....	51

メモリモジュールの取り外し.....	52
メモリモジュールの取り付け.....	53
管理ライザーカード.....	54
管理ライザーカードの取り外し.....	54
管理ライザーカードの取り付け.....	55
SD カードの交換.....	55
SD vFlash カードの交換 / 取り付け.....	56
<b>4 システムのトラブルシューティング.....</b>	<b>58</b>
作業にあたっての注意.....	58
システムメモリのトラブルシューティング.....	58
ソリッドステートドライブ (SSD) のトラブルシューティング.....	59
Troubleshooting USB devices.....	59
内蔵 SD カードのトラブルシューティング.....	60
プロセッサのトラブルシューティング.....	60
ブレードのシステム基板のトラブルシューティング.....	61
NVRAM バックアップバッテリーのトラブルシューティング.....	61
<b>5 システム診断プログラムの使い方.....</b>	<b>62</b>
Dell Online Diagnostics.....	62
Dell 組み込み型システム診断.....	62
組み込み型システム診断を使用する状況.....	62
組み込み型システム診断の実行.....	62
システム診断のコントロール.....	63
<b>6 ジャンパとコネクタ.....</b>	<b>64</b>
システム基板のジャンパ設定.....	64
システム基板のコネクタ.....	64
パスワードを忘れたとき.....	65
<b>7 技術仕様.....</b>	<b>67</b>
<b>8 System messages.....</b>	<b>70</b>
LCD status messages.....	70
Viewing LCD messages.....	70
Removing LCD messages.....	70
システムエラーメッセージ.....	70
Warning messages.....	149
Diagnostic messages.....	149
アラートメッセージ.....	149
<b>9 困ったときは.....</b>	<b>150</b>

デルへのお問い合わせ.....	150
-----------------	-----

# システムについて

## 概要

お使いのシステムには、クォータハイトブレードが最大 4 台まで、スリーブに取り付けられています。システムとして機能するために、スリーブは M1000e エンクロージャ（シャーシ）に挿入されています。

△ **注意:** 内部コンポーネントの損傷を防ぐため、スリーブの取り扱いには注意してください。

✎ **メモ:** 正常な動作と冷却を助けるために、スリーブ内のすべてのブレードスロットにブレードまたはクォータハイトブレードのダミーを常時装着しておく必要があります。

✎ **メモ:** クォータハイトブレードの詳しい操作方法については、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) で M1000e エンクロージャの『オーナーズマニュアル』および CMC の『ユーザーズガイド』を参照してください。

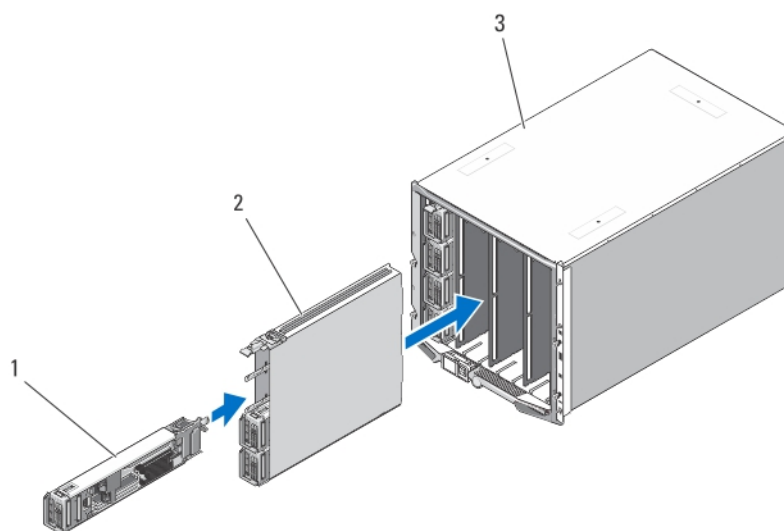


図 1. スリーブとブレード - 概要

1. クォータハイトブレード
2. スリーブ
3. エンクロージャ

下図は、スリーブ内のブレードスロットの番号を示したものです。

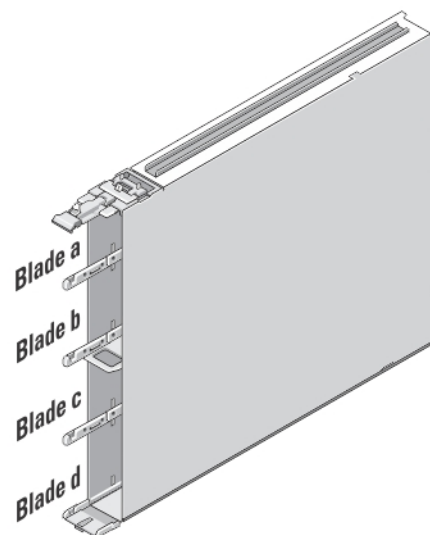


図 2. ブレードスロットの番号

## 前面パネルの機能とインジケータ

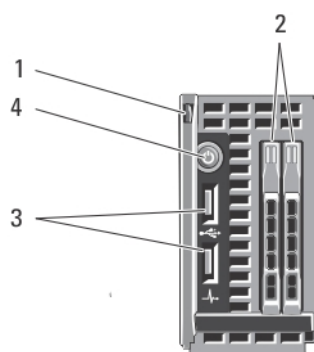


図 3. 前面パネルの機能とインジケータ

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. ブレードハンドルリリースボタン | 2. ソリッドステートドライブ (SSD) (2) |
| 3. USB コネクタ (2)    | 4. ブレード電源ボタン / インジケータ     |

## ソリッドステートドライブ (SSD) の機能

お使いのシステムには、1.8 インチ uSATA ソリッドステートドライブ (SSD) を 2 台取り付けることができます。


SSD は、ブレード内の SSD バックプレーンに接続します。ディスクを使用しない構成のブレードでは、適切な空気の流れを維持するために、すべてのドライブスロットに SSD のダミーを取り付け、SSD バックプレーンも取り付けておく必要があります。

システムでドライブイベントが発生すると、SSD インジケータがさまざまなパターンを表示します。



図 4. SSD の機能


- 1. アクティビティインジケータ (緑)
- 2. ステータスインジケータ (緑色と黄色)

 **メモ:** SSD が AHCI (Advanced Host Controller Interface) モードの場合、ステータス LED は消灯のままです。

ドライブステータス  
インジケータの  
パターン

**1 秒間に 2 回緑色  
に点滅**      ドライブの識別中または取り外し準備中

**消灯**      ドライブの挿入または取り外し可

 **メモ:** システム電源の投入後、すべての SSD の初期化が完了するまで、ドライブステータスインジケータは消灯しています。この間、ドライブの挿入も取り外しもできません。

**緑色、黄色に点滅  
し、消灯**      ドライブ障害の予測

**1 秒間に 4 回黄色  
に点滅**      ドライブに障害発生

**緑色にゆっくり点  
滅**      ドライブのリビルド中



ドライブステータス状態  
スインジケータの  
パターン

緑色の点灯                   ドライブオンライン状態

緑色に3秒間点滅、   リビルドが中断  
黄色に3秒間点滅、  
6秒間消灯

## USB ディスケットまたは USB DVD/CD ドライブの使用

ブレードの前面には USB ポートがあり、USB ディスケットドライブ、USB フラッシュドライブ、USB DVD/CD ドライブ、キーボード、またはマウスを接続できます。ブレードの構成に USB ドライブを使用できません。


-  **メモ:** お使いのブレードでは、Dell ブランドの USB 2.0 ドライブのみがサポートされています。使用中のドライブを支えるために、オプションの外付けドライブストレージトレイを使用します。
-  **メモ:** これらのいずれかのドライブを起動ドライブに指定する必要がある場合には、USB デバイスを接続し、システムを再起動して、セットアップユーティリティを起動し、第一起動デバイスに設定します。USB デバイスが起動順序設定画面に表示されるのは、セットアップユーティリティの起動前にシステムに接続されていた場合に限りです。起動デバイスを選択するには、システム起動時に <F11> を押し、今回の起動順序で使用する起動デバイスを選択するという方法も可能です。

## iKVM へのアクセス

スリープに取り付けられている M420 ブレード間でビデオを切り替えるには、次の手順を実行します。


1. <Print Screen> を押して OSCAR インタフェース (iKVM GUI) を起動します。
2. スリープとブレードが取り付けられているスロットを選択し、<Enter> を押して OSCAR インタフェースを終了します。
3. スリープに取り付けられているクォータハイトブレードの間で切り替えを行うには、<Scroll Lock> を素早く続けて 2 回押します。

## その他の情報

 **警告:** システムに付属のマニュアルで安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証に関する情報は、この文書に含まれている場合と、別の文書として付属する場合とがあります。

- 『Getting Started Guide』(はじめに) では、システムの機能、システムのセットアップ、および仕様の概要を説明しています。
- ラックソリューションに付属の『Rack Installation Instructions』(ラック取り付けガイド) では、システムをラックに取り付ける方法について説明しています。
- 『Dell PowerEdge M1000e Enclosure Owner's Manual』(Dell PowerEdge M1000e エンクロージャオーナーズマニュアル) では、エンクロージャの機能、トラブルシューティングの方法、およびコンポーネントの取り付け方や交換方法について説明しています。
- 『Dell Chassis Management Controller User's Guide』(Dell Chassis Management Controller のユーザーズガイド) では、Chassis Management Controller (CMC) のインストール、設定、および使い方を説明しています。
- 本書で使用されている略語や頭字語の正式名については、[www.dell.com/support/manuals](http://www.dell.com/support/manuals) で『Glossary』(用語集) を参照してください。

- Dell システム管理アプリケーションのマニュアルでは、システム管理ソフトウェアのインストール方法と使い方を説明しています。
- システムに付属のメディアには、OS、システム管理ソフトウェア、システムアップデート、およびシステムと同時に購入されたシステムコンポーネントに関するものを含め、システムの設定と管理用のマニュアルとツールが収録されています。

 **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくありますので、[www.dell.com/support/manuals](http://www.dell.com/support/manuals) でアップデートがないかどうかを常に確認し、初めにお読みください。

# セットアップユーティリティとブートマネージャの使い方

セットアップユーティリティでは、システムハードウェアの管理と BIOS レベルオプションの指定を行うことができます。

起動時に以下のキー操作を行うと、システム機能にアクセスできます。

キーストローク	説明
<F2>	セットアップユーティリティが起動します。
<F10>	システムサービスが起動し、Dell Lifecycle Controller 2 (LC2) が開きます。Dell LC2 を使用して、システム診断プログラムなどの内蔵されたユーティリティにアクセスできます。詳細については、Dell LC2 のマニュアルを参照してください。
<F11>	システムの構成に応じて、BIOS ブートマネージャまたは UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートマネージャが起動します。
<F12>	PXE (Preboot eXecution Environment) ブートが開始します。


セットアップユーティリティから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- システムセキュリティを管理する。

セットアップユーティリティへのアクセスには、次のものが使用できます。

- 標準のグラフィカルブラウザ (デフォルトで有効)
- テキストブラウザ (**Console Redirection** (コンソールのリダイレクト) を使用して有効にします)

**Console Redirection** (コンソールのリダイレクト) を有効にするには、**System Setup** (セットアップユーティリティ) で **System BIOS** (システム BIOS) → **Serial Communication** (シリアル通信) 画面 → **Serial Communication** (シリアル通信) の順に選択し、**On with Console Redirection** (コンソールのリダイレクトでオン) を選択します。


 **メモ:** デフォルトでは、選択したフィールドのヘルプテキストはグラフィカルブラウザ内に表示されません。テキストブラウザ内のヘルプテキストを表示するには、<F1> を押してください。


## システム起動モードの選択

セットアップユーティリティでは、OS インストール用の起動モードを指定することができます。

- BIOS 起動モード（デフォルト）は、標準的な BIOS レベルの起動インタフェースです。
- UEFI 起動モードは、システム BIOS にオーバーレイする UEFI（Unified Extensible Firmware Interface）仕様に基づく拡張 64 ビット起動インタフェースです。

起動モードの選択は、セットアップユーティリティの **Boot Settings**（起動設定）画面の **Boot Mode**（起動モード）フィールドで行う必要があります。起動モードを指定すると、システムは指定された起動モードで起動し、そのモードから OS のインストールに進むことができます。それ以降は、インストールした OS にアクセスするには同じ起動モード（BIOS または UEFI）でシステムを起動する必要があります。ほかの起動モードから OS の起動を試みると、システムは起動時に停止します。

 **メモ:** UEFI 起動モードからインストールする OS は UEFI 対応である必要があります。DOS および 32 ビットの OS は UEFI 非対応で、BIOS 起動モードからのみインストールできます。

 **メモ:** 対応 OS の最新情報については、[dell.com/ossupport](http://dell.com/ossupport) を参照してください。

## セットアップユーティリティの起動


1. システムの電源を入れるか、再起動します。
2. 次のメッセージが表示された直後に <F2> を押します。

<F2> = System Setup

<F2> を押す前に OS のロードが開始された場合は、システムの起動が完了するのを待ってから、もう一度システムを再起動し、この手順を実行してください。


## エラーメッセージへの対応

システムの起動中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージをメモしてください。メッセージの説明とエラーの修正方法については、このマニュアルの「システムエラーメッセージ」を参照してください。

 **メモ:** メモリのアップグレード後、最初にシステムを起動する際にメッセージが表示されるのは正常です。


## セットアップユーティリティナビゲーションキーの使い方

キー	動作
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに従うことができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Esc>	前のページに戻ります。最後はメイン画面に戻ります。メイン画面で <Esc> を押すとセットアップユーティリティが終了します。保存していない変更があれば保存するように求めるメッセージが表示されます。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

 **メモ:** ほとんどのオプションでは、変更内容は自動的に記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。


# セットアップユーティリティのオプション


## セットアップユーティリティのメイン画面

 メモ: BIOS または UEFI の設定をデフォルトにリセットするには、<Alt><F> を押します。

メニュー項目	説明
System BIOS (システム BIOS)	このオプションは、BIOS 設定の表示と設定を行うために使用します。
iDRAC Settings (iDRAC 設定)	このオプションは、iDRAC 設定の表示と設定を行うために使用します。
Device Settings (デバイス設定)	このオプションは、デバイス設定の表示と設定を行うために使用します。

## System BIOS (システム BIOS) 画面

 メモ: セットアップユーティリティのオプションはシステム構成に応じて変わります。

 メモ: セットアップユーティリティのデフォルト設定を以下の項の該当する各オプションの下に示します。

メニュー項目	説明
iDRAC Settings (iDRAC 設定)	このオプションは、iDRAC 設定の表示と設定を行うために使用します。
Device Settings (デバイス設定)	このオプションは、デバイス設定の表示と設定を行うために使用します。
System Information (システム情報)	システムモデル名、BIOS バージョン、サービスタグなど、システムに関する情報が表示されます。
Memory Settings (メモリ設定)	取り付けられているメモリに関連する情報とオプションが表示されます。
Processor Settings (プロセッサ設定)	速度、キャッシュサイズなど、プロセッサに関する情報とオプションが表示されます。
Boot Settings (起動設定)	起動モード (BIOS または UEFI) を指定するオプションが表示されます。UEFI と BIOS の起動設定を変更することができます。
Integrated Devices (内蔵デバイス)	内蔵デバイスコントローラとポートの有効 / 無効の切り替え、および関連する機能とオプションの指定を行うオプションが表示されます。
Serial Communication (シリアル通信)	シリアルポートの有効 / 無効の切り替え、および関連する機能とオプションの指定を行うオプションが表示されます。



メニュー項目	説明
System Profile Settings (システムプロファイル設定)	プロセッサの電力管理設定、メモリ周波数などを変更するオプションが表示されます。
System Security (システムセキュリティ)	システムパスワード、セットアップパスワード、TPM セキュリティなどのシステムセキュリティ設定を行うオプションが表示されます。ローカル BIOS のアップデートやシステムの電源ボタンに対するサポートの有効 / 無効の切り替えもここで行えます。
Miscellaneous Settings (その他の設定)	システムの日時などを変更するオプションが表示されます。

## System Information (システム情報) 画面

メニュー項目	説明
System Model Name (システムモデル名)	システムモデル名が表示されます。
System BIOS Version (システム BIOS バージョン)	システムにインストールされている BIOS バージョンが表示されます。
System Service Tag (システムのサービスタグ)	システムのサービスタグが表示されます。
System Manufacturer (システム製造元)	システム製造元の名前が表示されます。
System Manufacturer Contact Information (システム製造元の連絡先情報)	システム製造元の連絡先情報が表示されます。

## メモリ設定画面


メニュー項目	説明
System Memory Size (システムメモリのサイズ)	システムに取り付けられているメモリの容量が表示されます。
System Memory Type (システムメモリのタイプ)	システムに取り付けられているメモリのタイプが表示されます。

メニュー項目	説明
System Memory Speed (システムメモリ速度)	システムメモリの速度が表示されます。
System Memory Voltage (システムメモリ電圧)	システムメモリの電圧が表示されます。
Video Memory (ビデオメモリ)	ビデオメモリの容量が表示されます。
System Memory Testing (システムメモリテスト)	システム起動時にシステムメモリテストを実行するかどうかを指定します。オプションは <b>Enabled</b> (有効) および <b>Disabled</b> (無効) です。デフォルトでは、 <b>System Memory Testing</b> (システムメモリテスト) オプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。
Memory Operating Mode (メモリ動作モード)	メモリの動作モードを指定します。お使いのシステムのメモリ構成に応じて使用可能なオプションは、 <b>Optimizer Mode</b> (オプティマイザモード)、 <b>Advanced ECC Mode</b> (アドバンス ECC モード)、 <b>Mirror Mode</b> (ミラーモード)、 <b>Spare Mode</b> (スペアモード)、 <b>Spare with Advanced ECC Mode</b> (スペア + アドバンス ECC モード)、および <b>Dell Fault Resilient Mode</b> (Dell 耐障害性モード) です。デフォルトでは、 <b>Memory Operating Mode</b> (メモリ動作モード) オプションは <b>Optimizer Mode</b> (オプティマイザモード) に設定されています。   <b>メモ:</b> Memory Operating Mode (メモリ動作モード) には、メモリ設定に基づいて、異なるデフォルトおよび利用可能オプションがあります。   <b>メモ:</b> Dell Fault Resilient Mode (Dell 耐障害性モード) は、耐障害性を持つメモリ領域を確立します。このモードは、この機能をサポートするオペレーティングシステムによる、重要なアプリケーションのロード、またはオペレーティングシステムカーネルの有効化のための使用が可能で、システムの可用性を最大化します。
Node Interleaving (ノードインターリーブ)	対称的なメモリ構成の場合、このフィールドが <b>Enabled</b> (有効) に設定されていると、メモリのインターリーブがサポートされます。このフィールドが <b>Disabled</b> (無効) に設定されていると、システムは NUMA (Non-Uniform Memory Architecture) (非対称) メモリ構成をサポートします。デフォルトでは、 <b>Node Interleaving</b> (ノードのインターリーブ) オプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。
Serial Debug Output (シリアルデバッグ出力)	デフォルトでは無効に設定されています。





## Processor Settings (プロセッサ設定) 画面

メニュー項目	説明
Logical Processor (論理プロセッサ)	論理プロセッサの有効 / 無効を切り替え、論理プロセッサの数を表示することができます。 <b>Logical Processor</b> (論理プロセッサ) オプションが <b>Enabled</b> (有効) に設定されていると、BIOS にはすべての論理プロセッサが表示されます。このオプションが <b>Disabled</b> (無効) に設定されていると、BIOS にはコアごとに 1 つの論理プロセッサ

メニュー項目	説明
	のみが表示されます。デフォルトでは、 <b>Logical Processor</b> （論理プロセッサ）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
QPI Speed (QPI スピード)	QuickPath Interconnect のデータ速度を設定できます。デフォルトでは、 <b>QPI Speed</b> (QPI スピード) オプションは <b>Maximum data rate</b> （最大データ速度）に設定されています。
	 <b>メモ:</b> QPI Speed (QPI スピード) オプションは、両方のプロセッサが取り付けられている場合にのみ表示されます。
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー)	仮想化のために提供されている追加のハードウェア機能の有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Virtualization Technology</b> （仮想化テクノロジー）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
Adjacent Cache Line Prefetch (隣接キャッシュラインのプリフェッチ)	シーケンシャルメモリアクセスの頻繁な使用を必要とするアプリケーション用にシステムを最適化することができます。デフォルトでは、 <b>Adjacent Cache Line Prefetch</b> （隣接キャッシュラインのプリフェッチ）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。ランダムなメモリアクセスの頻度が高いアプリケーションを使用する場合は、このオプションを無効にします。
Hardware Prefetcher (ハードウェアのプリフェッチャ)	ハードウェアのプリフェッチャの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Hardware Prefetcher</b> （ハードウェアのプリフェッチャ）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
DCU Streamer Prefetcher (DCU ストリーマのプリフェッチャ)	DCU ストリーマのプリフェッチャの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>DCU Streamer Prefetcher</b> （DCU ストリーマのプリフェッチャ）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
DCU IP Prefetcher (DCU IP のプリフェッチャ)	DCU IP のプリフェッチャの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>DCU IP Prefetcher</b> （DCU IP のプリフェッチャ）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
Execute Disable (不正コード実行防止)	不正コード実行防止によるメモリ保護機能の有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Execute Disable</b> （不正コード実行防止）オプションは <b>Enabled</b> （有効）に設定されています。
Number of Cores per Processor (プロセッサごとのコア数)	各プロセッサ内の有効なコアの数を制御することができます。デフォルトでは、 <b>Number of Cores per Processor</b> （プロセッサごとのコア数）オプションは <b>All</b> （すべて）に設定されています。
Processor 64-bit Support (プロセッサ 64 ビットサポート)	プロセッサが 64 ビット拡張をサポートするかどうかを指定します。
Processor Core Speed (プロセッサコア速度)	プロセッサの最大コア周波数が表示されます。

メニュー項目	説明
Processor Bus Speed (プロセッサバス速度)	プロセッサのバス速度が表示されます。  <b>メモ:</b> プロセッサバス速度オプションは、両方のプロセッサが取り付けられている場合にのみ表示されます。

## Boot Settings (起動設定) 画面

メニュー項目	説明
Boot Mode (起動モード)	システムの起動モードを設定できます。  <b>注意:</b> OS インストール時の起動モードが異なる場合、起動モードを切り替えるとシステムが起動しなくなることがあります。  オペレーティングシステムが UEFI をサポートしている場合は、このオプションを UEFI に設定できます。このフィールドを BIOS に設定すると、UEFI 非対応のオペレーティングシステムとの互換性が有効になります。デフォルトでは、 <b>Boot Mode</b> (起動モード) オプションは <b>BIOS</b> に設定されています。   <b>メモ:</b> このフィールドを UEFI に設定すると、BIOS Boot Settings (BIOS 起動設定) メニューが無効になります。このフィールドを BIOS に設定すると、UEFI Boot Settings (UEFI 起動設定) メニューが無効になります。
Boot Sequence Retry (起動順序再試行)	起動順序の再試行機能の有効 / 無効を切り替えることができます。このフィールドが有効に設定されていて、システムが起動に失敗した場合、システムは 30 秒後に起動を再試行します。デフォルトでは、 <b>Boot Sequence Retry</b> (起動順序試行) オプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。
BIOS Boot Settings (BIOS 起動設定)	BIOS Boot (BIOS 起動) オプションの有効 / 無効を切り替えることができます。  <b>メモ:</b> このオプションは、起動モードが BIOS の場合にのみ有効になります。
UEFI 起動設定	UEFI 起動オプションの有効化または無効化を可能にします。起動オプションには <b>IPv4 PXE</b> および <b>IPv6 PXE</b> があります。デフォルトで、 <b>UEFI PXE 起動プロトコル</b> は <b>IPv4</b> に設定されています。   <b>メモ:</b> このオプションは、起動モードが UEFI の場合にのみ有効になります。
One-Time Boot (1 回限りの起動)	選択したデバイスからの 1 回限りの起動の有効 / 無効を切り替えることができます。

## 内蔵デバイス画面

メニュー項目	説明
Integrated RAID Controller (内蔵 RAID コントローラ)	内蔵 RAID コントローラの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Integrated RAID Controller</b> (内蔵 RAID コントローラ) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。

メニュー項目	説明
User Accessible USB Ports (ユーザーのアクセスが可能な USB ポート)	ユーザーがアクセス可能なポートを設定できます。 <b>All Ports Off</b> (すべてのポートをオフにする) を選択すると、すべての USB ポートが無効になります。デフォルトでは、 <b>User Accessible USB Ports</b> (ユーザーのアクセスが可能な USB ポート) オプションは <b>All Ports On</b> (すべてのポートをオフにする) に設定されています。
Internal SD Card Redundancy (内部 SD カードの冗長性)	<b>Mirror</b> (ミラー) モードに設定すると、データは両方の SD カードに書き込まれます。どちらかの SD カードに障害が発生した場合、データは正常な SD カードに書き込まれます。このカードに書き込まれたデータは、次の起動時に交換用の SD カードにコピーされます。
Internal SD Card Port (内部 SD カードポート)	システムの内蔵 SD カードポートの有効 / 無効を切り替えます。  <b>メモ:</b> このオプションを有効にすると、vFlash パーティションへのアクセスが無効になります。
Integrated Network Card 1 (内蔵ネットワークカード 1)	内蔵ネットワークカードの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Integrated Network Card 1</b> (内蔵ネットワークカード 1) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
OS Watchdog Timer (OS ウォッチドッグタイマー)	OS ウォッチドッグタイマーの有効 / 無効を切り替えることができます。このフィールドが有効の場合、OS がタイマーを初期化し、OS ウォッチドッグタイマーが OS のリカバリを支援します。デフォルトでは、 <b>OS Watchdog Timer</b> (OS ウォッチドッグタイマー) オプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。
Embedded Video Controller (組み込みビデオコントローラ)	<b>Embedded Video Controller</b> (内蔵ビデオコントローラ) の有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、内蔵ビデオコントローラは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
SR-IOV Global Enable (SR-IOV グローバル有効)	SR-IOV (Single Root I/O Virtualization) デバイスの BIOS 設定の有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>SR-IOV Global Enable</b> (SR-IOV グローバル有効) オプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。
Memory Mapped I/O above 4 GB (4GB を超える I/O のメモリマップ化)	大容量メモリを必要とする PCIe デバイスのサポートを可能にします。このオプションは、デフォルトで <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
Slot Disablement (スロット無効)	<b>Slot Disablement</b> (スロット無効) 機能により、指定のスロットに取り付けられているメザニンカードの構成を制御できます。制御が可能なのは、お使いのシステムに存在するメザニンカードスロットに限られます。


## Serial Communications (シリアル通信) 画面

メニュー項目	説明
Serial Communication (シリアル通信)	<b>COM port</b> (COM ポート) または <b>Console Redirection</b> (コンソールのリダイレクト) のオプションを有効にすることができます。

メニュー項目	説明
Serial Port Address (シリアルポートアドレス)	シリアルデバイスのポートアドレスを設定することができます。デフォルトでは、 <b>Serial Port Address</b> (シリアルポートアドレス) オプションは <b>COM1</b> に設定されています。   <b>メモ:</b> SOL (Serial Over LAN) には Serial Device 2 のみ使用できます。SOL でコンソールのリダイレクトを使用するには、コンソールのリダイレクトとシリアルデバイスに同じポートアドレスを設定します。
Failsafe Baud Rate (フェイルセーフボーレート)	コンソールのリダイレクトに使用されているフェイルセーフボーレートが表示されず、BIOS は自動的にボーレートの決定を試みます。このフェイルセーフボーレートは、その試みが失敗した場合にのみ使用されます。また、値は変更しないでください。デフォルトでは、 <b>Failsafe Baud Rate</b> (フェイルセーフボーレート) オプションは <b>11520</b> に設定されています。
Remote Terminal Type (リモートターミナルのタイプ)	リモートコンソールターミナルのタイプを設定することができます。デフォルトでは、 <b>Remote Terminal Type</b> (リモートターミナルのタイプ) オプションは <b>VT 100/VT220</b> に設定されています。
Redirection After Boot (起動後のリダイレクト)	OS の読み込み時に BIOS コンソールのリダイレクトの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Redirection After Boot</b> (起動後のリダイレクト) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。

## システムプロファイル設定画面

メニュー項目	説明
System Profile (システムプロファイル)	システムプロファイルを設定することができます。 <b>System Profile</b> (システムプロファイル) オプションを <b>Custom</b> (カスタム) 以外のオプションに設定すると、残りのオプションが BIOS によって自動的に設定されます。モードを <b>Custom</b> (カスタム) に設定している場合に限り、残りのオプションを変更できます。デフォルトでは、 <b>System Profile</b> (システムプロファイル) オプションは <b>Performance Per Watt Optimized (DAPC)</b> (ワットあたりのパフォーマンス最適化 (DAPC)) に設定されています。DAPC は Dell Active Power Controller (Dell アクティブ電力コントローラ) の略です。   <b>メモ:</b> 以下のパラメータは、 <b>System Profile</b> (システムプロファイル) が <b>Custom</b> (カスタム) に設定されている場合に限り利用できます。
CPU Power Management (CPU 電力の管理)	CPU 電力の管理を設定できます。デフォルトでは、 <b>CPU Power Management</b> (CPU 電力の管理) オプションは <b>System DBPM (DAPC)</b> (システム DBPM (DAPC)) に設定されています。DBPM は Demand-Based Power Management (デマンドベースの電力管理) の略です。
Memory Frequency (メモリ周波数)	メモリ周波数を設定することができます。デフォルトでは、 <b>Memory Frequency</b> (メモリ周波数) オプションは <b>Maximum Performance</b> (最大パフォーマンス) に設定されています。
Turbo Boost (ターボブースト)	プロセッサがターボブーストモードで動作するかどうかを設定できます。デフォルトでは、 <b>Turbo Boost</b> (ターボブースト) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。

メニュー項目	説明
C1E	アイドル時にプロセッサが最小パフォーマンス状態に切り替わるかどうかを設定できます。デフォルトでは、 <b>C1E</b> オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
C States (C ステート)	プロセッサが利用可能なすべての電源状態で動作するかどうかを設定できます。デフォルトでは、 <b>C States</b> (C ステート) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
Monitor/Mwait	プロセッサ内の Monitor/Mwait 命令を有効にすることができます。デフォルトでは、Monitor/Mwait オプションは <b>Custom</b> (カスタム) を除くすべてのシステムプロファイルに対して <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。   <b>メモ:</b> このオプションは、 <b>Custom</b> (モード) の <b>C States</b> (C ステート) オプションが無効に設定されている場合に限り、無効に設定できます。   <b>メモ:</b> <b>Custom</b> (カスタム) モードで <b>C States</b> (C ステート) が有効に設定されていると、Monitor/Mwait 設定を変更してもシステムの能力 / パフォーマンスは影響を受けません。
Memory Patrol Scrub (メモリ巡回スクラブ)	メモリパトロールスクラブの周波数を設定することができます。デフォルトでは、 <b>Memory Patrol Scrub</b> (メモリパトロールスクラブ) オプションは <b>Standard</b> (スタンダード) に設定されています。
Memory Refresh Rate (メモリリフレッシュレート)	メモリリフレッシュレートを設定することができます。デフォルトでは、 <b>Memory Refresh Rate</b> (メモリリフレッシュレート) オプションは <b>1x</b> に設定されています。
Memory Operating Voltage (メモリ動作電圧)	DIMM 電圧選択を設定することができます。 <b>Auto</b> (自動) に設定すると、DIMM の容量と取り付けられている DIMM の枚数に応じて、システム電圧が自動的に最適に設定されます。デフォルトでは、 <b>Memory Operating Voltage</b> (メモリ動作電圧) オプションは <b>Auto</b> (自動) に設定されています。
Collaborative CPU Performance Control (CPU パフォーマンス協調制御)	有効に設定すると、CPU 電源管理が OS DBPM およびシステムの DBPM (DAPC) によって制御されます。デフォルトで、このオプションは <b>Disabled</b> (無効) に設定されています。

## System Security (システムセキュリティ) 画面

メニュー項目	説明
Intel AES-NI	<b>Intel AES-In</b> オプションは、新暗号規格の AES (Advanced Encryption Standard) セットを使用して暗号化と解読を行うことでアプリケーションの速度を向上させます。デフォルトでは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
System Password (システムパスワード)	システムパスワードを設定することができます。システムにパスワードジャンパが取り付けられていない場合、このオプションは読み取り専用です。
Setup Password (セットアップパスワード)	セットアップパスワードを設定することができます。システムにパスワードジャンパが取り付けられていない場合、このオプションは読み取り専用です。

メニュー項目	説明
<b>Password Status</b> (パスワードステータス)	システムパスワードをロックすることができます。デフォルトでは、 <b>Password Status</b> (パスワードステータス) オプションは <b>Unlocked</b> (ロック解除) に設定されています。
<b>TPM Security (TPM セキュリティ)</b>	信頼済みプラットフォームモジュール (TPM) の報告モードを制御することができます。デフォルトでは、 <b>TPM Security</b> (TPM セキュリティ) オプションは <b>Off</b> (オフ) に設定されています。 <b>TPM Status</b> (TPM ステータス) フィールド、TPM Activation (TPM の有効化) フィールド、および Intel TXT フィールドは、TPM Status (TPM ステータス) フィールドが <b>On with Pre-boot Measurements</b> (起動前測定ありでオン) または <b>On without Pre-boot Measurements</b> (起動前測定なしでオン) のいずれかに設定されている場合に限り、変更できます。
<b>TPM Activation (TPM の有効化)</b>	TPM の動作状態を変更することができます。デフォルトでは、 <b>TPM Activation</b> (TPM の有効化) オプションは <b>No Change</b> (変更なし) に設定されています。
<b>TPM Status (TPM ステータス)</b>	TPM の状態が表示されます。
<b>TPM Clear (TPM のクリア)</b>	 <b>注意: TPM をクリアすると、TPM 内のすべてのキーが失われます。TPM キーが失われると、OS の起動に影響するおそれがあります。</b> TPM の全コンテンツをクリアすることができます。デフォルトでは、 <b>TPM Clear</b> (TPM のクリア) オプションは <b>No</b> (なし) に設定されています。
<b>Intel TXT</b>	Intel Trusted Execution Technology の有効 / 無効を切り替えることができます。 <b>Intel TXT</b> を有効にするには、Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) を有効に、TPM Security (TPM セキュリティ) を起動前測定ありで有効に設定する必要があります。デフォルトでは、Intel TXT オプションは <b>Off</b> (オフ) に設定されています。
<b>Power Button (電源ボタン)</b>	システム前面の電源ボタンの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>Power Button</b> (電源ボタン) オプションは <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
<b>AC Power Recovery (AC 電源の回復)</b>	AC 電源が回復した後のシステムの動作を設定することができます。デフォルトでは、 <b>AC Power Recovery</b> (AC 電源の回復) オプションは <b>Last</b> (前回) に設定されています。

## Miscellaneous Settings (その他の設定)

メニュー項目	説明
<b>System Time (システム時刻)</b>	システムの時刻を設定することができます。
<b>System Date (システム日付)</b>	システムの日付を設定することができます。
<b>Asset Tag</b>	Asset Tag が表示されます。Asset Tag はセキュリティと追跡のために変更することができます。
<b>Keyboard NumLock (キーボードの NumLock)</b>	NumLock が有効または無効のどちらの状態でもシステムが起動するかを設定することができます。デフォルトでは、 <b>Keyboard NumLock</b> (キーボードの NumLock) は <b>On</b> (オン) に設定されています。

## メニュー項目 説明

 **メモ:** このフィールドは 84 キーのキーボードには適用されません。


<b>Report Keyboard Errors (キーボードエラーの報告)</b>	システム起動時にキーボード関連のエラーメッセージが報告されるかどうかを設定することができます。デフォルトでは、 <b>Report Keyboard Errors</b> (キーボードエラーの報告) フィールドは <b>Report</b> (報告する) に設定されています。
<b>F1/F2 Prompt on Error (エラー時 F1/F2 プロンプト)</b>	エラー時 F1/F2 プロンプトの有効 / 無効を切り替えることができます。デフォルトでは、 <b>F1/F2 Prompt on Error</b> (エラー時 F1/F2 プロンプト) は <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。
<b>In-System Characterization (インシステムキャラクターライゼーション)</b>	このフィールドで <b>In-System Characterization</b> (インシステムキャラクターライゼーション) の有効 / 無効を切り替えます。デフォルトでは、 <b>In-System Characterization</b> (インシステムキャラクターライゼーション) は <b>Enabled</b> (有効) に設定されています。


## システムパスワードとセットアップパスワードの機能


システムのセキュリティを確保するために、システムパスワードとセットアップパスワードを設定することができます。システムパスワードとセットアップパスワードの設定を有効にするには、パスワードジャンプを有効に設定する必要があります。パスワードジャンプの設定については、「システム基板のジャンプ設定」を参照してください。

**システムパスワード** システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。


**セットアップパスワード** システムの BIOS または UEFI 設定にアクセスして変更する際に入力が必要なパスワードです。

 **注意:** パスワード機能は、システム内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** システムが無人で稼働中の場合は、システムに格納されているデータにだれでもアクセスできません。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

## システムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの割り当て

 **メモ:** パスワードジャンプによって、システムパスワードとセットアップパスワードの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。パスワードジャンプの設定については、「システム基板のジャンプ設定」を参照してください。

パスワードジャンプの設定が有効で **Password Status** (パスワードステータス) が **Unlocked** (ロック解除) の場合に限り、新しい **System Password** (システムパスワード) や **Setup Password** (セットアップパスワード) の設定、または既存の **System Password** (システムパスワード) や **Setup Password** (セットアップパスワード) の変更が可能です。Password Status (パスワードステータス) が **Locked** (ロック) に設定されている場合、System Password (システムパスワード) や Setup Password (セットアップパスワード) の変更はできません。

パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存の System Password (システムパスワード) と Setup Password (セットアップパスワード) は削除され、システムへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

システムパスワードやセットアップパスワードの設定は次の手順で行います。


1. セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。
2. **System Setup Main Menu** (セットアップユーティリティのメインメニュー) で **System BIOS** (システム BIOS) を選択し、<Enter> を押します。  
**System BIOS** (システム BIOS) 画面が表示されます。
3. **System BIOS** (システム BIOS) 画面で **System Security** (システムセキュリティ) を選択し、<Enter> を押します。  
**System Security** (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
4. **System Security** (システムセキュリティ) 画面で **Password Status** (パスワードステータス) が **Unlocked** (ロック解除) に設定されていることを確認します。
5. **System Password** (システムパスワード) を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。

以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。


- パスワードの文字数は 32 文字までです。
- 0 から 9 までの数字を含めることができます。
- 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
- 次の特殊記号も使用できます: スペース、( ), ( + ), ( - ), ( . ), ( / ), ( : ), ( @ ), ( # ), ( ! ) 。

システムパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

6. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. **Setup Password** (セットアップパスワード) を選択してセットアップパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
8. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
9. <Esc> を押して変更を保存します。

 **メモ:** システムが再起動するまでパスワード保護機能は有効になりません。

## システムを保護するためのシステムパスワードの使い方


 **メモ:** セットアップパスワードが設定されている場合、システムはセットアップパスワードをシステムパスワードの代用として受け入れます。

1. システムの電源を入れるか、再起動します。
2. パスワードを入力し、<Enter> を押します。

**Password Status** (パスワードステータス) が **Locked** (ロック) に設定されている場合は、再起動時に画面の指示に従ってパスワードを入力し、<Enter> を押します。

間違ったシステムパスワードを入力すると、パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。3 回目までに正しいパスワードを入力してください。間違ったパスワードを 3 回入力すると、システムの停止を示すエラーメッセージが表示され、システムの電源が切れます。

システムをシャットダウンして再起動しても、正しいパスワードを入力するまで、このエラーメッセージが表示されます。


-  **メモ:** 無許可の変更からシステムを保護するために、**System Password** (システムパスワード) と **Setup Password** (セットアップパスワード) オプションの他に **Password Status** (パスワードステータス) オプションも併用することができます。

## 既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更


既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更を試みる前に、パスワードジャンプが有効に設定され、**Password Status** (パスワードステータス) が **Unlocked** (ロック解除) になっていることを確認します。**Password Status** (パスワードステータス) が **Locked** (ロック) の場合、既存のシステムパスワードやセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する手順は、次のとおりです。

1. セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。
2. **System Setup Main Menu** (セットアップユーティリティのメインメニュー) で **System BIOS** (システム BIOS) を選択し、<Enter> を押します。  
**System BIOS** (システム BIOS) 画面が表示されます。
3. **System BIOS** (システム BIOS) 画面で **System Security** (システムセキュリティ) を選択し、<Enter> を押します。  
**System Security** (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
4. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
5. **System Password** (システムパスワード) を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
6. **セットアップパスワード** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。

-  **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合は、新しいパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合は、削除の確認を求めるメッセージが表示されます。

7. <Esc> を押して変更を保存します。

-  **メモ:** システムへのログオン中はパスワードセキュリティを無効にすることができます。パスワードセキュリティを無効にするには、システムの電源をオンにするかシステムを再起動し、パスワードを入力して <Ctrl><Enter> を押します。

## セットアップパスワード使用中の操作

**Setup Password** (セットアップパスワード) が **Enabled** (有効) に設定されている場合、正しいセットアップパスワードを入力しないと、ほとんどのセットアップオプションは変更できません。


3回目までに正しいパスワードを入力しないと、次のメッセージが表示されます。

Incorrect Password! Number of unsuccessful password attempts: <x> System Halted! Must power down. (パスワードが間違っています。間違ったパスワード入力回数: <x> システムが停止しました。電源が切れます。)


システムをシャットダウンして再起動しても、正しいパスワードを入力するまで、このエラーメッセージが表示されます。以下のオプションは例外です。

- 次のオプションは例外です。**System Password** (システムパスワード) が **Enabled** (有効) に設定されておらず、**Password Status** (パスワードステータス) オプションを通じてロックされていない場合は、システムパスワードを設定できます。

- 既存のシステムパスワードは、無効にすることも変更することもできません。

 **メモ: Setup Password** (セットアップパスワード) オプションと **Password Status** (パスワードステータス) オプションを併用すると、無許可の変更からシステムパスワードを保護することができます。

## UEFI ブートマネージャの起動

 **メモ:** UEFI 起動モードからインストールするオペレーティングシステムは 64 ビット UEFI 対応 (Microsoft Windows Server 2008 x64 バージョンなど) である必要があります。DOS および 32 ビットのオペレーティングシステムは BIOS 起動モードからのみインストールできます。

ブートマネージャでは次の操作ができます。

- 起動オプションの追加、削除、配置
- 再起動なしでのセットアップユーティリティオプションおよび BIOS レベル起動オプションへのアクセス


ブートマネージャは次の手順で起動します。

1. システムの電源を入れるか、再起動します。
2. 次のメッセージが表示されたら <F11> を押します。  
<F11> = UEFI Boot Manager (UEFI ブートマネージャ)

<F11> を押す前にオペレーティングシステムのロードが開始された場合は、システムの起動が完了するのを待ってから、もう一度システムを再起動し、この手順を実行してください。

## ブートマネージャのナビゲーションキーの使い方

キー	説明
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Esc>	前のページに戻ります。最後はメイン画面に戻ります。メイン画面で <Esc> を押すとセットアップユーティリティが終了します。保存していない変更があれば保存するように求めるメッセージが表示されます。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

 **メモ:** ほとんどのオプションでは、変更内容は自動的に記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

## ブートマネージャ画面

メニュー項目	説明
Continue Normal Boot (通常の起動を続行)	システムは起動順序の先頭にあるデバイスから順に起動を試みます。起動が失敗すると、システムは起動順序内の次のデバイスから起動を試みます。起動が成功するか、起動オプションがなくなるまで処理は続行されます。


メニュー項目	説明
BIOS Boot Menu (BIOS 起動メニュー)	使用可能な BIOS 起動オプション (アスタリスク [*] 付き) のリストが表示されます。使用する起動オプションを選択し、<Enter> を押します。
UEFI Boot Menu (UEFI 起動メニュー)	使用可能な UEFI 起動オプション (アスタリスク [*] 付き) のリストが表示されます。使用する起動オプションを選択し、<Enter> を押します。UEFI Boot Menu (UEFI 起動メニュー) では、 <b>Add Boot Option</b> (起動オプションの追加)、 <b>Delete Boot Option</b> (起動オプションの削除)、または <b>Boot From File</b> (ファイルからの起動) ができます。
Driver Health Menu (ドライバの正常性メニュー)	システムにインストールされているドライバのリストとその正常性が表示されます。
Launch System Setup (セットアップユーティリティの起動)	セットアップユーティリティにアクセスできます。
System Utilities (システムユーティリティ)	BIOS Update File Explorer へのアクセス、Dell Diagnostics プログラムの実行、システムの再起動ができます。

## UEFI Boot Menu (UEFI 起動メニュー)

メニュー項目	説明
Boot From File (ファイルからの起動)	起動オプションリストに含まれていない 1 回限りの起動オプションを設定します。
Select UEFI Boot Option (UEFI 起動オプションの選択)	使用可能な UEFI 起動オプション (アスタリスク [*] 付き) のリストが表示されます。使用する起動オプションを選択し、<Enter> を押します。
Add Boot Option	新しい起動オプションを追加します。
Delete Boot Option	既存の起動オプションを削除します。

## Embedded System Management (組み込みシステム管理)


Dell Lifecycle Controller により、サーバーのライフサイクル中、高度な組み込みシステム管理が実行できます。Lifecycle Controller は起動中に開始でき、OS に依存せずに機能することができます。

 **メモ:** 一部のプラットフォーム構成では、Lifecycle Controller の提供する機能の一部がサポートされない場合があります。

Lifecycle Controller のセットアップ、ハードウェアとファームウェアの設定、および OS の導入の詳細については、[support.dell.com/manuals](https://support.dell.com/manuals) で Lifecycle Controller のマニュアルを参照してください。

## iDRAC 設定ユーティリティ

iDRAC 設定ユーティリティは、UEFI を使用して iDRAC パラメータを設定するインターフェースです。iDRAC7 設定ユーティリティを使用してさまざまな iDRAC パラメータの有効 / 無効を切り替えることができます。たとえば、次のとおりです。

 **メモ:** リストに挙げられている機能の中には、iDRAC7 Enterprise License のアップグレードが必要なものもあります。

- 専用の iDRAC Enterprise カードポートまたは内蔵 NIC を介して、iDRAC LAN を設定したり、有効 / 無効の切り替えを行う。
- IPMI over LAN の有効 / 無効を切り替える。
- LAN PET (Platform Event Trap) の送信先を有効にする。
- 仮想メディアデバイスの取り付けまたは取り外しを行う。

iDRAC7 の使い方の詳細については、[support.dell.com/manuals](https://support.dell.com/manuals) で iDRAC7 の『ユーザーズガイド』を参照してください。

### iDRAC 設定ユーティリティの起動

1. 管理対象システムの電源を入れるか、再起動します。
2. Power-on Self-test (POST) 中に <F2> を押します。
3. セットアップユーティリティメインメニュー ページで **iDRAC 設定** をクリックします。

iDRAC 設定 ページが表示されます。

# ブレードコンポーネントのインストール

## 奨励するツール

本項の手順を実行するには、以下のアイテムが必要です。

- #1 および #2 のプラスドライバ
- T10 および T15 のトルクスドライバ
- アースされた静電気防止用リストバンド

## スリーブの取り外しと取り付け

△ **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

- エンクロージャからスリーブを取り外したり取り付けたりする前に、スリーブの一番上のスロット (Blade a) が空であることを確認してください。
- スロット Blade b、Blade c、Blade d にブレードまたはブレードのダミーを取り付けた状態で、エンクロージャからスリーブを取り外したり取り付けたりできます。

## スリーブの取り外し

1. OS のコマンドまたは CMC を使用して、スリーブ内のブレードの電源を切ります。  
ブレードの電源がオフのときには、前面パネルの電源インジケータが消灯しています。

△ **注意:** エンクロージャのスロット 3 または 4 からスリーブを取り外す前に、LCD 画面を偶発的な損傷から守るために LCD パネルを保管時の位置へ倒します。

2. スリーブの一番上のスロット (Blade a) からブレードを取り外します。

△ **注意:** スリーブをエンクロージャから取り外したままにする場合は、ハーフハイトのブレードのダミーを 2 つ取り付けます。ブレードのダミーを取り付けずにシステムを長時間使用すると、エンクロージャがオーバーヒートするおそれがあります。

3. スリーブハンドルを引いて、スリーブをロック位置から外します。
4. スリーブハンドルを押し下げ、スリーブをエンクロージャから引き出します。

△ **注意:** スリーブ背面の I/O コネクタピンを保護するために、エンクロージャからスリーブを取り外した場合は必ず、I/O コネクタカバーを取り付けてください。

5. スリーブハンドルにカバーを取り付けます。
6. スリーブの I/O コネクタに I/O コネクタカバーを取り付けます。

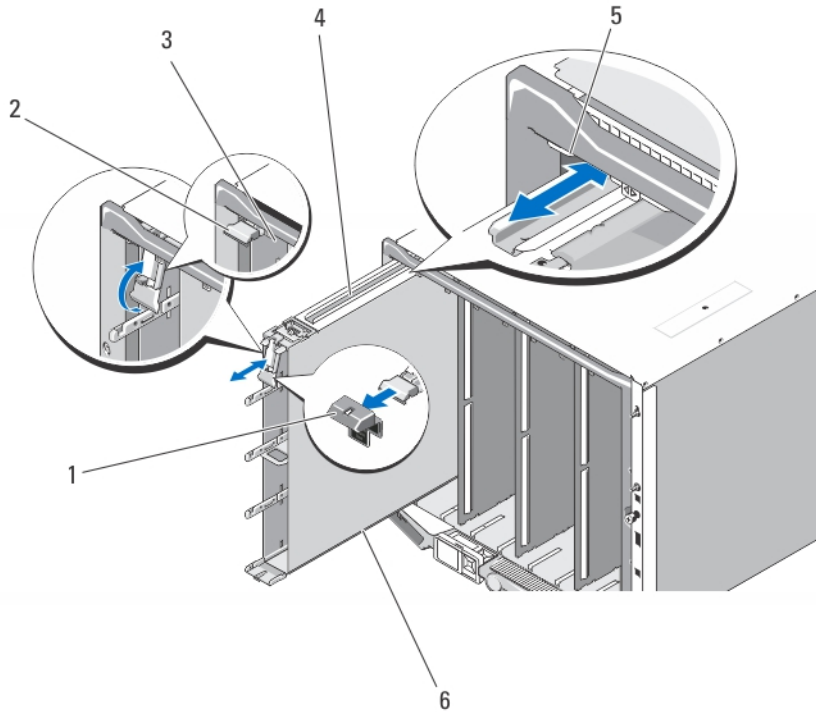


図 5. スリーブの取り外しと取り付け

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. スリーブハンドルカバー    | 2. スリーブハンドル    |
| 3. スリーブ/ブレードスロット  | 4. スリーブのガイドレール |
| 5. エンクロージャのガイドレール | 6. スリーブ        |

## スリーブの取り付け

1. スリーブの I/O コネクタから I/O コネクタカバーを取り外します。コネクタカバーは将来使用するために取っておきます。
2. スリーブハンドルからカバーを取り外します。
  - **メモ:** 冷却機能を最適な状態に保つため、スリーブをエンクロージャに取り付けた後でスリーブハンドルにカバーを取り付けないでください。
3. ブレードまたはブレードのダミーがスリーブの一番上のスロット (Blade a) に取り付けられている場合は、取り外します。
  - △ **注意:** スリーブをベイ 3 または 4 に取り付ける場合は、LCD 画面を偶発的な損傷から守るために LCD モジュールを保管時の位置 (水平) へ倒します。
4. レールがエンクロージャのプラスチック製のガイドの間にはまるように、レールをスリーブの上端に合わせます。
5. スリーブをエンクロージャに挿入します。
6. スリーブハンドルを引き上げて、スリーブをエンクロージャに固定します。

## ブレードの取り外しと取り付け

- △ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

### ブレードの取り外し

1. OS のコマンドまたは CMC を使用してスリーブ内のブレードの電源を切り、ブレードの電源がオフになっていることを確認します。  
ブレードの電源がオフのときには、前面パネルの電源インジケータが消灯しています。
2. ブレードのリリースハンドルを押し下げ、ブレードをスリーブから引き出します。

- △ 注意: ブレードを取り外したままにする場合は、ブレードのダミーを取り付けます。ブレードのダミーを取り付けずにシステムを長時間使用すると、エンクロージャがオーバーヒートするおそれがあります。

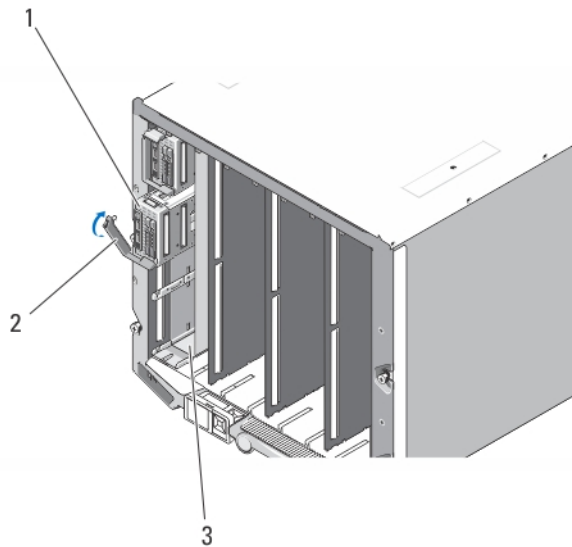


図 6. ブレードの取り外しと取り付け

1. ブレード
2. ブレードのリリースハンドル
3. スリーブ

### ブレードの取り付け

1. スリーブの一番上のスロット (Blade a) にブレードを取り付ける場合は、スリーブがエンクロージャに取り付けられていることを確認してください。
2. スリーブのブレードスロットにブレードのダミーが取り付けられている場合は、取り外します。
3. ブレードのリリースハンドルがスリーブのリリースハンドルと向き合うようにブレードを置きます。

4. ブレードのリリースハンドルが固定され、ブレードが所定の位置にロックされるまで、ブレードをスリーブに挿入します。

## ブレードの内部

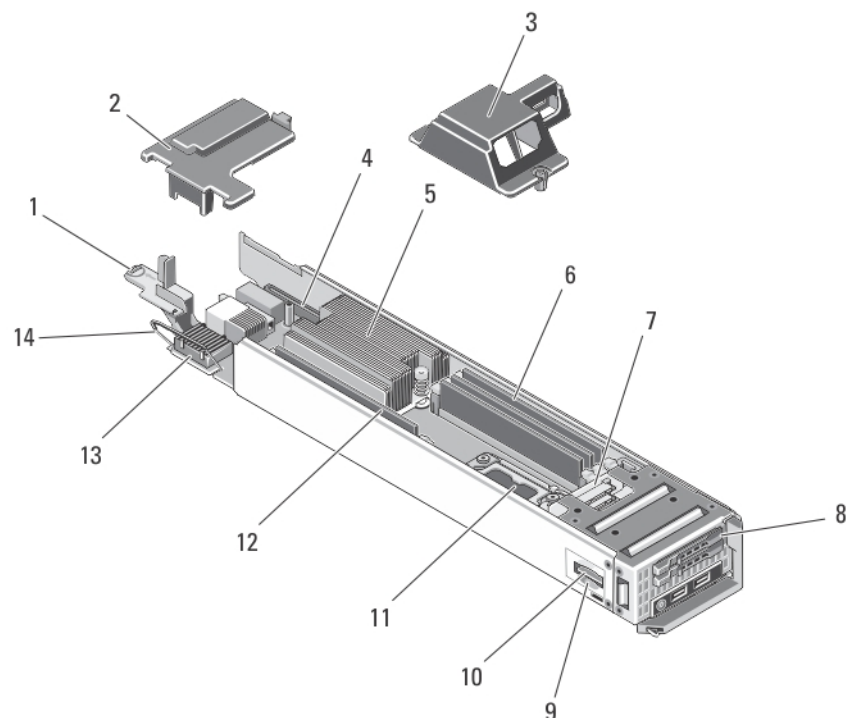


図 7. ブレードの内部

- |                                    |                                  |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. ブレードのシステム基板のリリースハンドル            | 2. メザニンカードのダミー                   |
| 3. プロセッサ /DIMM のダミー                | 4. LOM ライザーカードコネクタ               |
| 5. ヒートシンク (プロセッサ 1 用)              | 6. メモリモジュール (3) (プロセッサ 2 用)      |
| 7. SSD バックプレーン                     | 8. ソリッドステートドライブ (SSD) (2)        |
| 9. SD カード 1 スロット                   | 10. SD vFlash カード /SD カード 2 スロット |
| 11. プロセッサ 2 ソケット                   | 12. メモリモジュール (3) (プロセッサ 1 用)     |
| 13. オプションのメザニンカード (ファブリック B または C) | 14. メザニンカードのリリースラッチ              |


## I/O モジュールのメザニンカード

### メザニンカードの取り付けガイドライン


- ブレードには SFF メザニンカードを 1 枚取り付けることができます。
- ブレードが取り付けられているスリーブのスロットに応じて、メザニンカードスロットはファブリック B またはファブリック C をサポートします。このカードは、対応する I/O モジュールベイに取り付けられている I/O モジュールのファブリックタイプと一致している必要があります。

 **メモ:** I/O モジュールの詳細については、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) にアクセスして、M1000e エンクロージャの『オーナーズマニュアル』の「I/O モジュール取り付けのガイドライン」を参照してください。

## メザニンカードの取り外し

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. メザニンカード固定ラッチを開いて、メザニンカードのロックを解除します。

 **メモ:** メザニンカードは両端の部分だけを持つようにしてください。

3. メザニンカードを持ち上げてブレードのシステム基板から取り外します。
4. メザニンカードを取り外したままにする場合は、空のメザニンカードスロットにメザニンカードのダミーを取り付ける必要があります。メザニンカードのダミーは次の手順で取り付けます。
  - a. メザニンカードのダミーをメザニンカードコネクタに合わせます。  
位置と方向が正しければ、メザニンカードのダミーの下にあるタブがメザニンカードコネクタの四隅を覆い、メザニンカードのダミーの側面にあるタブがシャーシ側面のスロットに被さります。
  - b. メザニンカード固定ラッチをメザニンカードのダミーの上に閉じて、所定の位置に固定します。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。

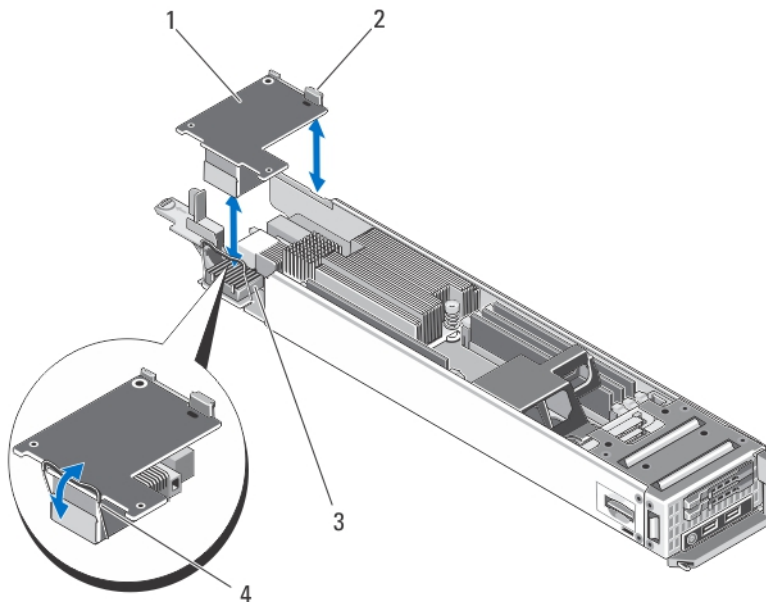


図 8. メザニンカードの取り外しと取り付け

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. メザニンカード     | 2. メザニンカードの側面にあるロックタブ |
| 3. メザニンカードスロット | 4. メザニンカード固定ラッチ       |

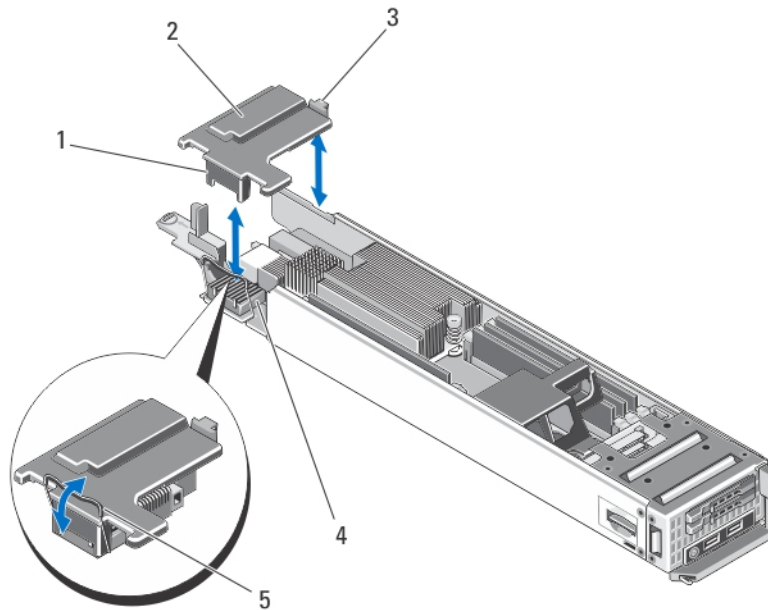



図 9. メザニンカードのダミーの取り外しと取り付け

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. メザニンカードのダミーの下にあるタブ (4) | 2. メザニンカードのダミー |
| 3. メザニンカードのダミーの側面にあるロックタブ | 4. メザニンカードスロット |
| 5. メザニンカード固定ラッチ           |                |

## メザニンカードの取り付け

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. メザニンカード固定ラッチを開いて、メザニンカードのダミーのロックを解除します。
2. シャーシ側面に固定されている、メザニンカードのダミーの側面にあるロックタブを外し、メザニンカードのダミーをシステムから取り出します。

 **メモ:** メザニンカードは両端の部分だけを持つようにしてください。

3. メザニンカードの下部のコネクタと、ブレードのシステム基板上にあるメザニンカードスロットが揃うように、カードの向きを合わせます。
4. 完全に装着されるまで、カードを押し下げます。
5. メザニンカード固定ラッチをメザニンカードの上閉じて、所定の位置に固定します。
6. ブレードをスリーブに取り付けます。

# LOM ライザーカード

## LOM ライザーカードの取り外し

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. LOM ライザーカードをブレードのシステム基板に固定している 2 本のネジを外します。
3. カードをブレードのシステム基板から外します。

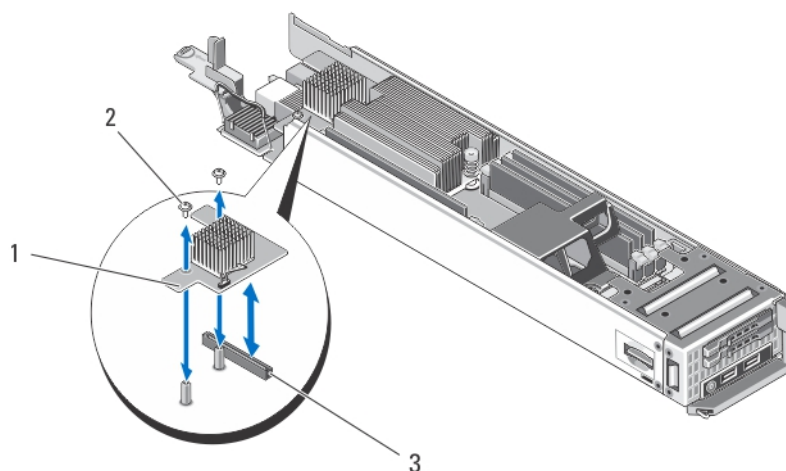


図 10. LOM ライザーカードの取り外しと取り付け

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1. LOM ライザーカード     | 2. ネジ (2) |
| 3. LOM ライザーカードコネクタ |           |

## LOM ライザーカードの取り付け

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。


1. スリーブからブレードを取り外します。
2. 以下の手順で LOM ライザーカードを取り付けます。
  - a. LOM ライザーカードを所定の位置に下ろして、カードコネクタをブレードのシステム基板上の対応するコネクタに合わせます。
  - b. 2 本のネジでカードを固定します。

3. ブレードをスリーブに取り付けます。

## ソリッドステートドライブ (SSD)

- システムには、1.8 インチ uSATA ソリッドステートドライブ (SSD) を 2 台まで取り付けることができます。
- どの SSD も、SSD バックプレーンを介してブレードのシステム基板に接続します。
- SSD は、SSD スロットにぴったり収まる特別なホットスワップ対応ドライブキャリアに装着して提供されます。
- シングル SSD 構成の場合は、適切な通気による冷却効果を維持するために、もう 1 つのドライブベイに SSD のダミーを取り付ける必要があります。

### ソリッドステートドライブ (SSD) の取り外し

 **メモ:** ホットスワップ対応ドライブの取り付けをサポートしていない OS もあります。お使いの OS のマニュアルを参照してください。

1. SSD をオフラインにして、SSD ドライブキャリアのインジケータコードが、ドライブを取り外しても安全であるという信号を発するまで待ちます。  
すべてのインジケータが消えたら、ドライブを安全に取り外すことができます。  
SSD をオフラインにする作業の詳細については、OS のマニュアルを参照してください。
2. SSD キャリアリリースハンドルを開いて、SSD バックプレーンの SSD コネクタからドライブを取り出せる状態にします。
3. ドライブベイから外れるまで SSD を引き出します。  
SSD を取り外したままにする場合は、ダミーを取り付けます。

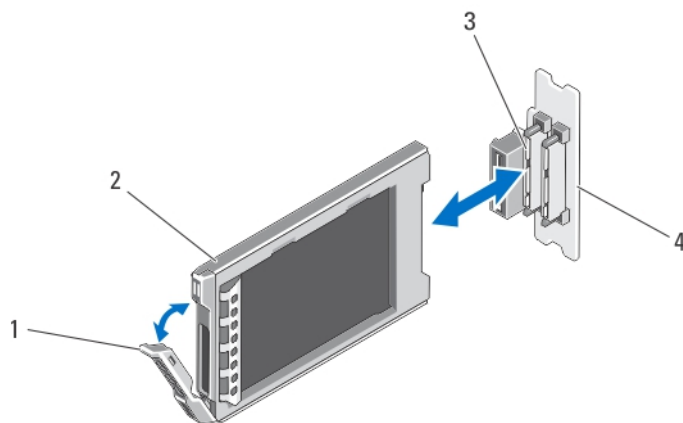




図 11. SSD の取り外しと取り付け

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. SSD キャリアリリースハンドル | 2. SSD         |
| 3. SSD コネクタ (2)     | 4. SSD バックプレーン |

## ソリッドステートドライブ (SSD) の取り付け


 **注意:** ホットスワップ対応の交換用 SSD を取り付け、ブレードの電源を入れると、SSD のリビルドが自動的に始まります。交換用 SSD が空であるか、または上書きしてよいデータのみが格納されていることの確認を確実に行ってください。交換用 SSD 上のデータはすべて、SSD の取り付け後、ただちに失われます。

 **メモ:** ホットスワップ対応ドライブの取り付けをサポートしていない OS もあります。お使いの OS のマニュアルを参照してください。

1. SSD のダミーが取り付けられている場合は、取り外します。
2. SSD キャリアリリースハンドルが閉じている場合は、開きます。
3. キャリアが SSD バックプレーンに接触するまで、SSD ドライブキャリアをドライブスロットに挿入します。
4. リリースハンドルを閉じ、SSD を所定の位置にロックします。

 **メモ:** SSD が正しく挿入されると、ステータス LED インジケータが緑色に点灯します。ドライブのリビルド中、SSD キャリア LED の緑色のインジケータが点滅します。

## ソリッドステートドライブ (SSD) の保守のためのシャットダウン手順


 **メモ:** 本項は、SSD の保守のためにブレードの電源を切る必要がある場合にのみ適用されます。多くの場合は、ブレードの電源がオンの状態で SSD の保守が可能です。

SSD の保守のためにブレードの電源を切る必要がある場合は、ブレードの電源インジケータが消灯した後、30 秒待ってから SSD を取り外してください。そうしないと、SSD を再度取り付けてブレードの電源を再度入れた時に、SSD が認識されない場合があります。

## 起動ドライブの設定

システムが起動に使用するドライブまたはデバイスは、セットアップユーティリティで設定する起動順序によって決まります。

## SSD を SSD キャリアから取り外す手順

 **注意:** SSD または SSD キャリアの損傷を避けるため、無理な力を加えないように注意してください。

1. SSD キャリアの両端を、SSD キャリアに刻印されている矢印の方向にわずかに引き出し、SSD をキャリアから外します。
2. SSD を SSD キャリアから引き出します。

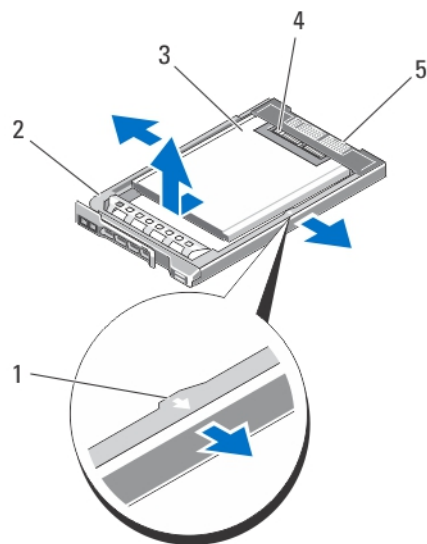


図 12. SSD を SSD キャリアから取り外す / 取り付ける手順

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 矢印 (2)       | 2. SSD キャリア |
| 3. SSD          | 4. SSD コネクタ |
| 5. コネクタ位置合わせラベル |             |

## SSD を SSD キャリアに取り付ける手順

1. SSD のコネクタが上を向き、SSD キャリアのコネクタ位置合わせラベルと揃うように、SSD を SSD キャリアに合わせます。

△ 注意: SSD または SSD キャリアの損傷を避けるため、無理な力を加えないように注意してください。

2. SSD キャリア内で固定されるまで、SSD を SSD キャリアに挿入します。

## ソリッドステートドライブ (SSD) バックプレーン

### SSD バックプレーンの取り外し

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みにになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。

△ 注意: SSD およびバックプレーンの損傷を防ぐため、SSD バックプレーンを取り外す前に SSD をブレードから取り外す必要があります。

△ 注意: 後で同じ場所に取り付けることができるように、取り外す前に各 SSD の番号を書き留め、一時的にラベルを貼っておく必要があります。

2. SSD を取り外します。

3. 青色のリリースラッチを引き上げます。
4. SSD バックプレーンを管理ライザーカードのカードエッジコネクタから引き出し、持ち上げてブレードから取り出します。

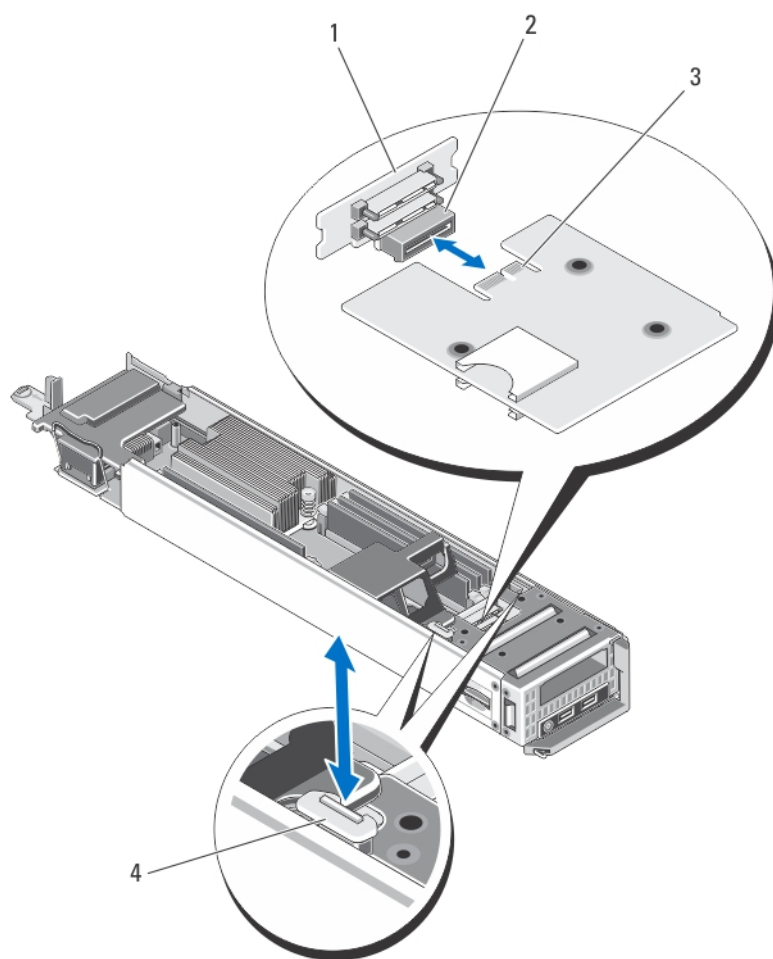


図 13. SSD バックプレーンの取り外しと取り付け

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. SSD バックプレーン            | 2. SSD バックプレーンコネクタ |
| 3. カードエッジコネクタ (管理ライザーカード) | 4. リリースラッチ (2)     |

### SSD バックプレーンの取り付け

1. バックプレーンコネクタを管理ライザーカードのカードエッジコネクタに合わせます。
2. 管理ライザーカードのカードエッジコネクタにしっかり収まるまで、SSD バックプレーンを挿入します。
3. 青色のリリースタブを押し下げて、SSD バックプレーンをロックします。
4. SSD を取り付けます。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。


## プロセッサ

- お使いのシステムは、最大で2つの Intel Xeon プロセッサ E5-2400、または E5-2400v2 製品シリーズをサポートします。
- シングルプロセッサ構成がサポートされています。


次の作業は下記の手順に従って行ってください。


- 追加のプロセッサの取り付け
- プロセッサの交換

## プロセッサの取り外し

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。

 **警告:** プロセッサとヒートシンクは非常に高温になることがあります。プロセッサが十分に冷えるのを待ってから作業してください。

 **注意:** プロセッサを取り外そうとしている場合を除き、ヒートシンクをプロセッサから取り外さないでください。ヒートシンクは適切な温度条件を保つために必要です。

2. ヒートシンクをブレードのシステム基板に固定している2個の固定ソケットを緩めます。
3. ヒートシンクを取り外します。

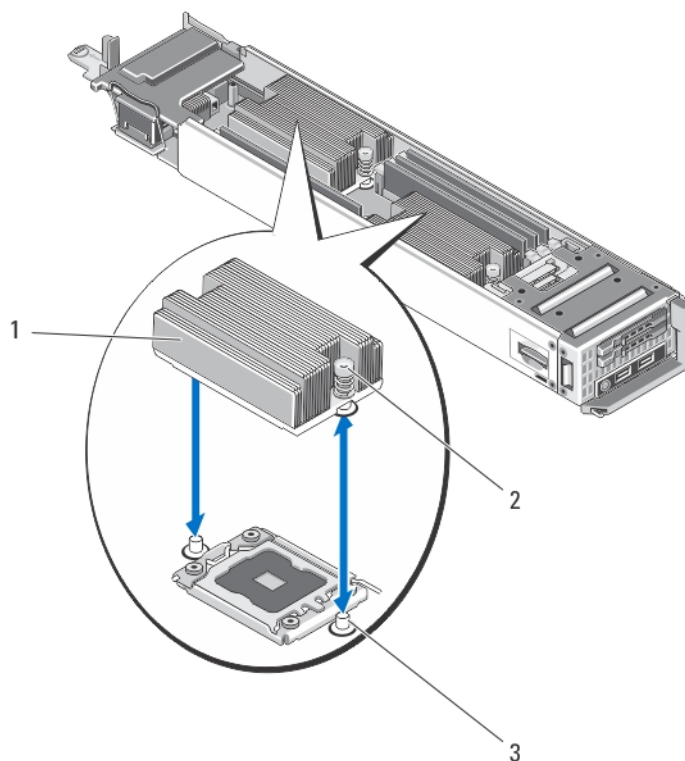


図 14. ヒートシンクの取り外しと取り付け

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. ヒートシンク   | 2. 固定ソケット (2) |
| 3. 固定ネジ (2) |               |

4. 糸くずの出ないきれいな布で、プロセッサシールドの表面からサーマルグリースを拭き取ります。

**△ 注意:** プロセッサは強い圧力でソケットに固定されています。リリースレバーはしっかりつかんでいないと突然跳ね上がるおそれがありますので、注意してください。

5. プロセッサのソケットリリースレバーを親指でしっかりと押さえ、レバーをロック位置から外します。レバーを上方向に 90 度持ち上げて、プロセッサをソケットから外します。
6. プロセッサシールドのタブを持ち、プロセッサシールドを上方向に開いて、プロセッサが取り出せる状態にします。
7. プロセッサシールドにソケット保護キャップが取り付けられている場合は、取り外します。ソケット保護キャップを取り外すには、キャップをプロセッサシールドの内側から押して、ソケットピンから離れる方向に動かします。

**メモ:** プロセッサシールドにソケット保護キャップを取り付ける、または取り外す際には、プロセッサシールドを開いた状態にしておくことをお勧めします。

**△ 注意:** ソケットピンは壊れやすく、損傷して修復できなくなることがあります。プロセッサをソケットから取り外す際には、ソケットのピンを曲げないように気をつけてください。

8. プロセッサをソケットから取り外したら、ソケットに新しいプロセッサを取り付けられるように、リリースレバーは立てたままにしておきます。

△ 注意: プロセッサを取り外したままにする場合は、システムの正常な冷却状態を維持するために、空のソケットにソケット保護キャップとプロセッサ /DIMM のダミーを取り付ける必要があります。プロセッサ /DIMM のダミーは、DIMM とプロセッサの空のソケットをカバーします。

✎ メモ: プロセッサ /DIMM のダミーの取り付けの詳細については、「プロセッサ /DIMM のダミーの取り外し」を参照してください。

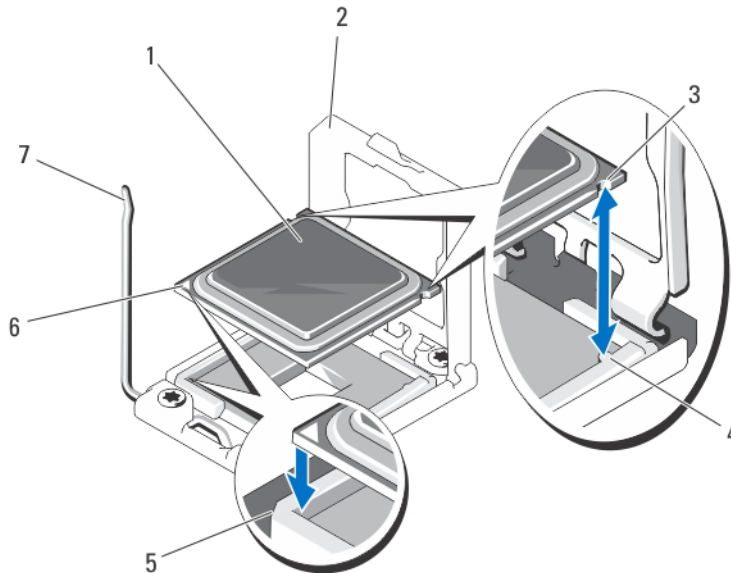


図 15. プロセッサの取り外しと取り付け

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. プロセッサ                 | 2. プロセッサシールド         |
| 3. プロセッサの切り込み (4)        | 4. ソケットキー (4)        |
| 5. ピン1インジケータ (プロセッサソケット) | 6. ピン1インジケータ (プロセッサ) |
| 7. ソケットリリースレバー           |                      |


## プロセッサの取り付け


△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。


✎ メモ: プロセッサを1基だけ取り付けの場合は、CPU1 のソケットに取り付ける必要があります。

1. ヒートシンクのダミーが取り付けられている場合は、取り外します。
2. ラッチを外してソケットリリースレバーを上方に 90 度起こし、レバーを必ず完全に開いた状態にしておきます。
3. プロセッサシールドのタブを持ち、プロセッサシールドを上方向に開いて、プロセッサが取り出せる状態にします。

4. プロセッサシールドにソケット保護キャップが取り付けられている場合は、取り外します。ソケット保護キャップを取り外すには、キャップをプロセッサシールドの内側から押して、ソケットピンから離れる方向に動かします。

 **メモ:** プロセッサシールドにソケット保護キャップを取り付ける、または取り外す際には、プロセッサシールドを開いた状態にしておくことをお勧めします。

 **注意:** プロセッサの取り付け位置を間違えると、システム基板またはプロセッサが完全に損傷してしまうおそれがあります。ソケットのピンを曲げないように注意してください。

 **注意:** プロセッサを無理に押し込まないでください。プロセッサの位置が合っていれば、簡単にソケットに入ります。

5. プロセッサを以下の手順でソケットに取り付けます。
  - a. プロセッサのピン 1 の角には、金色の小さな三角形の印が付いています。プロセッサソケット上の対応する三角形の印のついた ZIF ソケットの角に、この角を合わせます。
  - b. プロセッサのピン 1 の角とプロセッサソケットのピン 1 の角を合わせます。
  - c. プロセッサをソケットに軽く乗せます。


お使いのシステムでは ZIF プロセッサソケットが使用されているので、強く押し込まないでください。プロセッサとソケットの位置が合っていれば、軽く押すだけで自然とソケットに収まります。
  - d. プロセッサとソケットが正しく揃い、装着されたことを確認します。
  - e. プロセッサシールドを閉じます。
  - f. 所定の位置にロックされるまで、ソケットリリースレバーを下ろします。
6. 次の手順でヒートシンクを取り付けます。

次の場合：

**ヒートシンクを取り付ける**      糸くずの出ないきれいな布で、ヒートシンクに残っているサーマルグリースを拭き取ります。

**プロセッサをアップグレードする**      プロセッサに新しいヒートシンクが付属している場合は、それを取り付けてください。

**プロセッサの取り付け**      プロセッサに残っているサーマルグリースを拭き取ります。


 **注意:** 塗布するサーマルグリースの量が多すぎると、過剰グリースがプロセッサソケットに付着し、汚れるおそれがあります。


- a. プロセッサキットに含まれているグリース塗布器を開け、新しいプロセッサの上部中央にサーマルグリースを残さず塗布します。
  - b. ヒートシンクをプロセッサの上に置きます。
  - c. 固定ソケットを締めて、ヒートシンクをブレードのシステム基板に固定します。
7. ブレードをスリーブに取り付けます。

システムが起動すると、新しいプロセッサの存在を検知し、セットアップユーティリティのシステム設定情報を自動的に変更します。
  8. <F2> を押してセットアップユーティリティを起動し、プロセッサの情報が新しいシステム構成と一致していることを確認します。
  9. システム診断プログラムを実行し、新しいプロセッサが正しく動作することを確認します。
  10. システム BIOS をアップデートします。

# NVRAM backup battery

## NVRAM バックアップバッテリーの交換

 **警告:** バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂するおそれがあります。交換用のバッテリーには、同じ製品か、または製造元が推奨する同等品を使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。詳細については、システムに付属のマニュアルの「安全にお使いいただくために」を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. バッテリーをバッテリーコネクタから外すには、バッテリーコネクタの両側を押し込んでコネクタを支え、バッテリーをコネクタのプラス側に押しします。
3. バッテリーを持ち上げてバッテリーコネクタの固定タブから外します。
4. 新しいシステムバッテリーを取り付けるには、以下の手順に従います。
  - a. コネクタの両側をしっかりと押し下げて、バッテリーコネクタを支えます。
  - b. バッテリーのマイナス側をバッテリーコネクタに向けて、所定の位置にカチッと収まるまでバッテリーコネクタに挿入します。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。
6. セットアップユーティリティを起動して、バッテリーが正常に動作していることを確認します。
7. セットアップユーティリティの **Time**（時刻）および **Date**（日付）フィールドで正しい時刻と日付を入力します。
8. セットアップユーティリティを終了します。
9. 新しく取り付けられたバッテリーをテストするには、ブレードを1時間以上取り外したままにします。
10. 1時間後、ブレードを取り付けます。
11. セットアップユーティリティを起動し、日付や時刻が間違っただけであれば、「[困ったときは](#)」を参照してください。



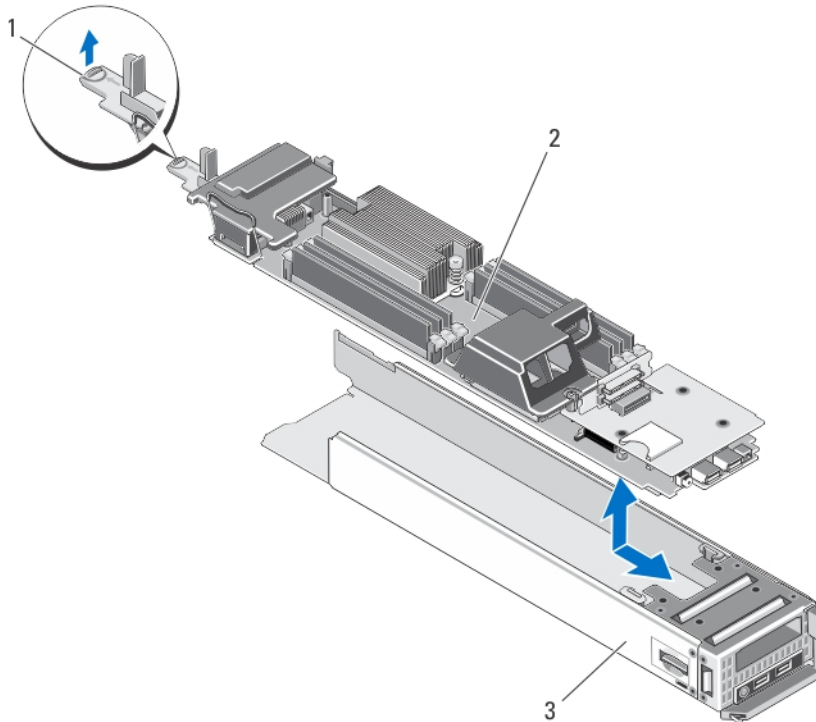



図 17. ブレードのシステム基板の取り外しと取り付け

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. ブレードのリリースハンドル | 2. ブレードのシステム基板 |
| 3. ブレードシャーシ      |                |

## ブレードのシステム基板の取り付け

1. 次のコンポーネントを新しいブレードのシステム基板に付け替えます。
  - a. メモリモジュールとメモリモジュールのダミーカード。
  - b. プロセッサとヒートシンク、またはプロセッサ / DIMM のダミー。
  - c. LOM ライザーカード
2. ブレードのリリースラッチで固定されるまで、新しいブレードのシステム基板をブレードシャーシの開口部に挿入します。

 **メモ:** システム基板がシャーシと平行になっていることを確認します。

3. メザニンカードを取り付けます。
4. SSD バックプレーンを取り付けます。
5. SSD を取り付けます。  
ドライブが 2 台ある場合は、必ずそれぞれ元の場所に取り付けてください。
6. SD カードを取り付けます。
7. ブレードをスリーブに取り付けます。
8. 新規または既存の iDRAC Enterprise ライセンスをインポートします。詳細については、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) で iDRAC7 の『ユーザーズガイド』を参照してください。

## Processor/DIMM blank

**△ CAUTION:** If you are permanently removing a processor, you must install a socket protective cap and a processor/DIMM blank in the vacant socket to ensure proper system cooling. The processor/DIMM blank covers the vacant sockets for the DIMMs and the processor.

### プロセッサ /DIMM のダミーの取り外し

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. ブレードのシステム基板を取り外します。詳細については、「ブレードのシステム基板の取り外し」を参照してください。
3. プロセッサ /DIMM のダミーを持ち上げてシステムから取り外します。

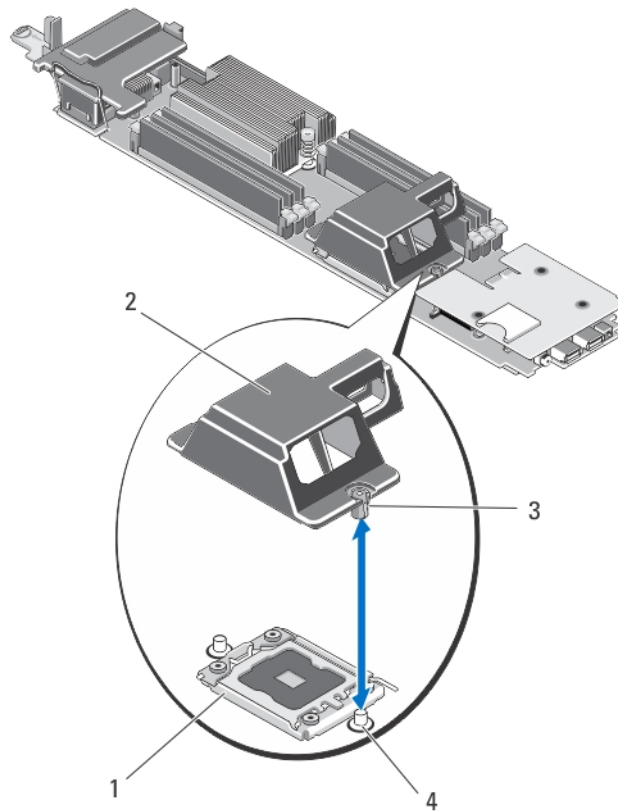


図 18. プロセッサ /DIMM のダミーの取り外しと取り付け

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. プロセッサソケット | 2. プロセッサ /DIMM のダミー |
| 3. タブ (2)    | 4. ヒートシンク固定ソケット (2) |


### プロセッサ /DIMM のダミーの取り付け

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. プロセッサとヒートシンクが取り付けられている場合は、取り外します。詳細については、「プロセッサの取り外し」を参照してください。

3. ブレードのシステム基板を取り外します。詳細については、「ブレードのシステム基板の取り外し」を参照してください。
4. プロセッサ /DIMM のダミーをブレードのシステム基板上に置き、プロセッサ /DIMM のダミーのタブにある穴がブレードのシステム基板上のヒートシンク固定ネジと噛み合うようにします。
5. ブレードのシステム基板を取り付けます。詳細については、「ブレードのシステム基板の取り付け」を参照してください。
6. ブレードをスリーブに取り付けます。

## System memory

Your system supports registered DIMMs (RDIMMs). It supports DDR3 and DDR3L voltage specifications.

 **NOTE:** MT/s indicates DIMM speed in MegaTransfers per second.


Memory bus operating frequency can be 1600 MT/s or 1333 MT/s depending on:

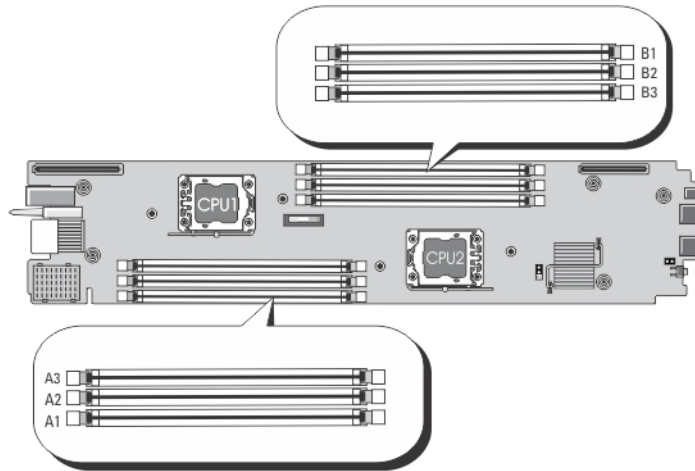
- DIMM configuration (number of ranks)
- maximum frequency of the DIMMs
- DIMM operating voltage
- system profile selected (for example, Performance Optimized, Custom, or Dense Configuration Optimized)
- maximum supported DIMM frequency of the processors

The following table shows the memory populations and operating frequencies for the supported configurations.

Processor	DIMM Type	DIMMs Populated/ Channel	Operating Frequency (in MT/s)		Maximum DIMM Rank/Channel
			1.5 V	1.35 V	
Intel Xeon processor E5-2400	RDIMM	1	1600 and 1333	1333	Dual rank
	RDIMM	1	1333	1333	Quad rank
Intel Xeon processor E5-2400v2	UDIMM	1	1600	1600	Single rank
	RDIMM	1	1600 and 1333	1600 and 1333	Dual rank
	RDIMM	1	1333	1333	Quad rank

The system contains six memory sockets split into two sets of three sockets, one set per processor. Each three-socket set is organized into three channels.

 **NOTE:** DIMMs in sockets A1 to A3 are assigned to processor 1 and DIMMs in sockets B1 to B3 are assigned to processor 2.



**Figure 19. Memory Socket Locations**

Memory channels are organized as follows:

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| <b>Processor 1</b> | channel 1: memory socket A1 |
|                    | channel 2: memory socket A2 |
|                    | channel 3: memory socket A3 |
| <b>Processor 2</b> | channel 1: memory socket B1 |
|                    | channel 2: memory socket B2 |
|                    | channel 3: memory socket B3 |


## メモリモジュール取り付けガイドライン

このシステムはフレキシブルメモリ構成をサポートしているため、あらゆる有効なチップセットアーキテクチャ構成でシステムを構成し、使用することができます。ベストパフォーマンスを得るための推奨ガイドラインは次のとおりです。

- x4 と x8 DRAM ベースの DIMM は併用できます。詳細については、「モードごとのガイドライン」を参照してください。
- プロセッサが取り付けられている場合に限り、DIMM ソケットに DIMM を装着してください。シングルプロセッサシステムの場合は、ソケット A1 ~ A3 が使用できます。デュアルプロセッサシステムの場合は、ソケット A1 ~ A3 と B1 ~ B3 が使用できます。
- デュアルプロセッサ構成では、各プロセッサのメモリ構成は同一でなければなりません。たとえば、プロセッサ 1 のソケット A1 に DIMM を装着した場合、プロセッサ 2 はソケット B1 に (...以下同様) DIMM を装着する必要があります。
- 他のメモリ装着ルールが守られていれば、異なるサイズのメモリモジュールを併用できます (たとえば、2 GB と 4 GB のメモリモジュールを併用できます)。
- 速度の異なるメモリモジュールを取り付けた場合は、取り付けられているメモリモジュールのうちで最も遅いものの速度で動作します。または、システムの DIMM 構成によってはさらに遅い動作になります。

## モードごとのガイドライン

各プロセッサに3つのメモリチャンネルが割り当てられます。使用可能な構成は、選択するメモリモードによって異なります。


-  **メモ:** RAS 特性に応じて、x4 と x8 DRAM ベースの DIMM が併用できます。ただし、特定の RAS 特性に関するすべてのガイドラインに準拠している必要があります。x4 DRAM ベースの DIMM は、メモリ最適化（独立チャンネル）モードまたはアドバンス ECC モードで SDDC（Single Device Data Correction）を維持します。x8 DRAM ベースの DIMM が SDDC を獲得するには、アドバンス ECC モードを必要とします。

以下の各項では、各モードの詳しいメモリ装着ガイドラインを説明します。

### Advanced ECC (Lockstep) (アドバンス ECC (ロックステップ))

Advanced ECC (アドバンス ECC) モードでは、SDDC が x4 DRAM ベースの DIMM から x4 と x8 の両方の DRAM に拡張されます。これにより、通常動作中のシングル DRAM チップ障害から保護されます。アドバンス ECC モードをサポートするためには、メモリモジュールは、サイズ、速度、テクノロジーが同一のものを取り付ける必要があります。


- メモリソケット A1 と B1 は無効になっており、アドバンス ECC モードに対応していません。
- メモリソケット A2 と A3 には同一の DIMM を取り付ける必要があります。メモリソケット B2 と B3 に取り付ける DIMM にも同様の規則が適用されます。

-  **メモ:** アドバンス ECC とミラーリングの併用はサポートされていません。

### Memory optimized (independent channel) mode


This mode supports SDDC only for memory modules that use x4 device width and does not impose any specific slot population requirements.

### メモリスペアリング

-  **メモ:** メモリスペアリングを使用するには、メモリモジュールを装着するチャンネルにはすべてクアッドランクの DIMM を取り付け、セットアップユーティリティでメモリスペアリングを有効に設定する必要があります。

このモードでは、各チャンネルにつき1ランクがスペアとして予約されます。いずれかのランクで修正可能なエラーが絶えず検知される場合、そのランクからのデータがスペアランクにコピーされ、障害の発生したランクは無効になります。

メモリスペアリングを有効にすると、OS が利用できるシステムメモリは各チャンネルとも1ランク少なくなります。たとえば、32 GB のクアッドランク DIMM を6枚使用するデュアルプロセッサ構成では、利用可能なシステムメモリは6 (DIMM) × 32 GB = 192 GB とはならず、3/4 (ランク / チャンネル) × 6 (DIMM) × 32 GB = 144 GB となります。

-  **メモ:** メモリスペアリングは、マルチビットの修正不能なエラーには対応できません。

-  **メモ:** Advanced ECC/Lockstep (アドバンス ECC/ ロックステップ) モードと Optimizer (オプティマイザ) モードは、どちらもメモリスペアリングをサポートしています。

### メモリミラーリング

メモリミラーリングは他のどのモードよりも DIMM の信頼性に優れており、修正不能なマルチビットのエラーに対応する機能が向上しています。ミラーリング構成では、使用可能なシステムメモリの総量は取り付けられた総物理メモリの2分の1です。取り付けられたメモリの半分は、アクティブな DIMM のミラーリング

に使用されます。修正不能なエラーが発生すると、システムはミラーリングされたコピーに切り替えられます。これにより、SDDC とマルチビットの保護が確保されます。

メモリミラーリングをサポートするメモリ取り付けガイドラインは、次のとおりです。

- メモリチャネル 1 (メモリソケット A1 と B1) は、このモードでは無効です。
- メモリチャネル 2 と 3 には DIMM を取り付ける必要があります。
- クアッドランク DIMM のみサポートされています。
- 取り付ける DIMM は、サイズ、速度、テクノロジーが同一でなければなりません。

## メモリ構成の例

本項で説明したメモリのガイドラインに則したメモリの構成例を以下の表に示します。

 **メモ:** 16 GB クアッドランク RDIMM はサポートされていません。


 **メモ:** 以下の表で、1R、2R、4R はそれぞれ、シングル、デュアル、クアッドランクの DIMM を表します。

表 1. メモリ構成 – シングルプロセッサ


システムの容量 (GB)	DIMM のサイズ (GB)	DIMM の枚数	機構と速度	装着する DIMM スロット
2	2	1	1R x8, 1333 MT/s	A1
4	2	2	1R x8, 1333 MT/s	A1、A2
6	2	3	1R x8, 1333 MT/s	A1、A2、A3
12	4	3	1R x4, 1333 MT/s 2R x8, 1333 MT/s 2R x8, 1600 MT/s	A1、A2、A3
24	8	3	2R x4, 1333 MT/s 2R x4, 1600 MT/s	A1、A2、A3
48	16	3	2R x4, 1333 MT/s 2R x4, 1600 MT/s	A1、A2、A3
96	32	3	4R x4, 1333 MT/s	A1、A2、A3


表 2. メモリ構成 – プロセッサ 2 基


システムの容量 (GB)	DIMM のサイズ (GB)	DIMM の枚数	機構と速度	装着する DIMM スロット
4	2	2	1R x8, 1333 MT/s	A1、B1
8	2	4	1R x8, 1333 MT/s	A1、A2、B1、B2


システムの容量 (GB)	DIMM のサイズ (GB)	DIMM の枚数	機構と速度	装着する DIMM スロット
12	2	6	1R x8、1333 MT/s	A1、A2、A3、B1、B2、B3
24	4	6	1R x4、1333 MT/s 2R x8、1333 MT/s 2R x8、1600 MT/s	A1、A2、A3、B1、B2、B3
48	8	6	2R x4、1333 MT/s 2R x4、1600 MT/s	A1、A2、A3、B1、B2、B3
96	16	6	2R x4、1333 MT/s 2R x4、1600 MT/s	A1、A2、A3、B1、B2、B3
192	32	6	4R x4、1333 MT/s	A1、A2、A3、B1、B2、B3

## メモリモジュールの取り外し


 **警告:** DIMM は、ブレードの電源を切った後もしばらくは高温です。DIMM が冷えるのを待ってから作業してください。DIMM はカードの両端を持ちます。DIMM のコンポーネントには指を触れないでください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** システムの適切な冷却状態を維持するため、メモリモジュールを取り付けないメモリソケットには、メモリモジュールダミーを取り付ける必要があります。メモリモジュールダミーは、それらのソケットにメモリモジュールを取り付ける予定の場合にのみ取り外すようにしてください。

 **注意:** プロセッサを取り外したままにする場合は、システムの正常な冷却状態を維持するために、空のソケットにソケット保護キャップとプロセッサ/DIMM のダミーを取り付ける必要があります。プロセッサ/DIMM のダミーは、DIMM とプロセッサの空のソケットをカバーします。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. ブレードのシステム基板を取り外します。
3. メモリモジュールソケットの位置を確認します。

 **注意:** 各モジュールは、カードの端だけを持ち、メモリモジュールの中央部や金色の接触部に触れないように取り扱ってください。

4. メモリモジュールがソケットから外れるまで、ソケットの両側にあるイジェクタを押し開きます。
5. システムの正常な冷却状態を維持するために、空のメモリモジュールソケットにはメモリモジュールのダミーカードを取り付けます。
6. ブレードのシステム基板を取り付けます。
7. ブレードをスリーブに取り付けます。

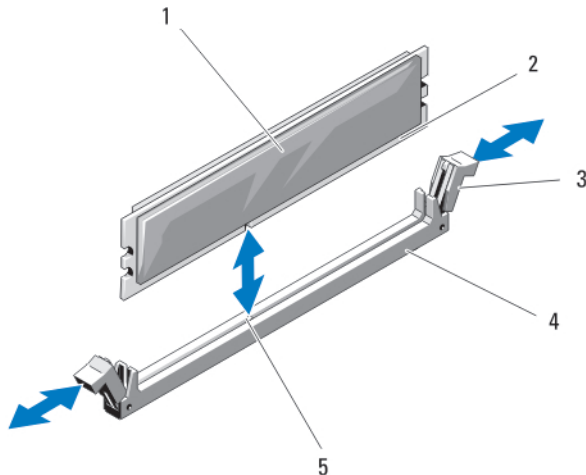


図 20. メモリモジュールまたはメモリモジュールのダミーカードの取り外しと取り付け

- |                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 1. メモリモジュールまたはメモリモジュールのダミーカード | 2. エッジコネクタ |
| 3. イジェクタ (2)                  | 4. ソケット    |
| 5. 位置合わせキー                    |            |

## メモリモジュールの取り付け

**⚠ 警告:** メモリモジュールは、システムの電源を切った後もしばらくは高温です。メモリモジュールが冷えるのを待ってから作業してください。メモリモジュールはカードの両端を持って取り扱い、モジュールのコンポーネントまたは金属製の接触部には触らないようにしてください。

**⚠ 注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。


**⚠ 注意:** システムの適切な冷却状態を維持するため、メモリモジュールを取り付けないメモリソケットには、メモリモジュールダミーを取り付ける必要があります。メモリモジュールダミーは、それらのソケットにメモリモジュールを取り付ける予定の場合にのみ取り外すようにしてください。

**⚠ 注意:** プロセッサを取り外したままにする場合は、システムの正常な冷却状態を維持するために、空のソケットにソケット保護キャップとプロセッサ /DIMM のダミーを取り付ける必要があります。プロセッサ /DIMM のダミーは、DIMM とプロセッサの空のソケットをカバーします。

- スリープからブレードを取り外します。
- ブレードのシステム基板を取り外します。
- 該当するメモリモジュールソケットの位置を確認します。
- メモリモジュールソケットのイジェクタを押し開くと、ソケットにメモリモジュールを挿入できます。ソケットにメモリモジュールのダミーカードが装着されている場合は、取り外します。取り外したメモリモジュールのダミーカードは、将来使用するために取っておきます。

**⚠ 注意:** メモリモジュールはカードの端のみを持ちます。端以外の部分には絶対に触れないでください。



- メモリモジュールソケットの位置合わせキーにメモリモジュールのエッジコネクタを合わせ、ソケットにメモリモジュールを差し込みます。

 **メモ:** メモリモジュールソケットには位置合わせキーがあり、メモリモジュールは一方方向にしか取り付けられません。


6. 親指でメモリモジュールを押し下げて、メモリモジュールをソケットにしっかりとはめ込みます。  
メモリモジュールがソケットに正しく取り付けられると、メモリモジュールソケットのイジェクタがメモリモジュールが装着されている別のソケットのイジェクタと同じ位置に揃います。
7. 手順3～5を繰り返して、残りのメモリモジュールを取り付けます。
8. ブレードのシステム基板を取り付けます。
9. ブレードをスリーブに取り付けます。
10. (オプション) <F2> を押してセットアップユーティリティを起動し、**System Memory** (システムメモリ) の設定を確認します。  
システムは新しく増設したメモリを認識して値を変更済みです。
11. 値が正しくない場合、1枚または複数のメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールがソケットにしっかりと装着されていることを確認します。
12. システム診断プログラムでシステムメモリのテストを実行します。


## 管理ライザーカード

管理ライザーカードにはカードスロットが2個あり、以下の機能があります。

- 内蔵デュアル SD インタフェース – 両方のスロット (ラベル表示は SD1 および vFlash/SD2) で SD カードを使用してミラーリング構成を維持し、冗長性を提供します。  
 **メモ:** SD カードスロットはブレードシャーシの左側にあり、SD1 とラベル表示されています。
- シングルカード動作 – SD1 カードスロットにシングルカードを取り付けることはできますが、冗長性は提供されません。ブレードシャーシの vFlash カードスロットに vFlash カードを取り付けることができます。vFlash カードは、持続的なオンデマンドローカルストレージとカスタムデプロイメント環境を実現することで、サーバー設定、スクリプト、イメージングの自動化を可能にします。詳細については、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) で iDRAC7 のマニュアルを参照してください。  
 **メモ:** vFlash カードスロットはブレードシャーシの左側にあり、vFlash/SD2 とラベル表示されています。

## 管理ライザーカードの取り外し

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. SD カードと vFlash カードのスロットからカードを取り外します。
3. メザニンカード / ダミーを取り外します。
4. SSD を取り外します。  
 **メモ:** 両方の SSD を取り外す場合は、元の場所に取り付けることができるようにラベルを貼ってください。
5. SSD バックプレーンを取り外します。
6. ブレードのシステム基板を取り外します。
7. 管理ライザーカードから3本のネジを外します。

8. 管理ライザーカードをブレードのシステム基板から外します。

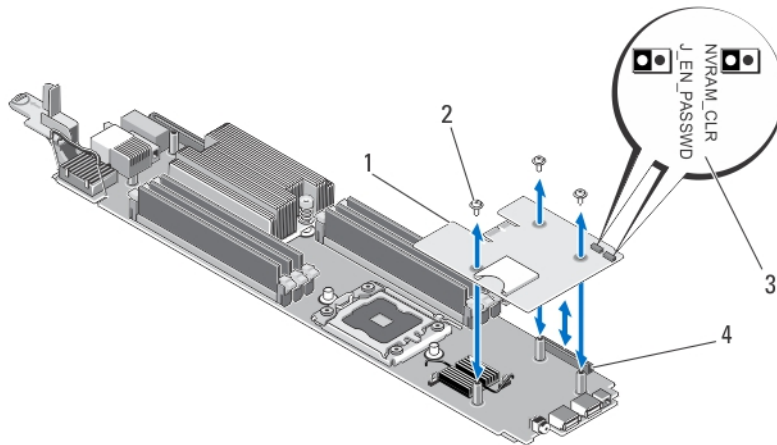


図 21. 管理ライザーカードの取り外しと取り付け

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 管理ライザーカード  | 2. ネジ (3)        |
| 3. システム設定ジャンパ | 4. 管理ライザーカードコネクタ |

## 管理ライザーカードの取り付け

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. 管理ライザーカードを次の手順でブレードのシステム基板に取り付けます。
  - a. 管理ライザーカードを所定の位置に下ろして、カードコネクタをブレードのシステム基板上の対応するコネクタに合わせます。
  - b. 管理ライザーカードを3本のネジでブレードのシステム基板に固定します。
2. ブレードのシステム基板を取り付けます。
3. メザニンカードを取り付けます。
4. SSD バックプレーンを取り付けます。
5. SSD を取り付けます。  
SSD が2台ある場合は、必ずそれぞれ元の場所に取り付けてください。
6. SD カードと vFlash カードを取り付けます。
7. ブレードをスリーブに取り付けます。

## SD カードの交換

メモ: 下側のカードスロットに取り付けられた SD カードがプライマリカード（ラベル表示は SD1）で、上側のカードスロットに取り付けられた SD カードがセカンダリカード（ラベル表示は vFlash/SD2）です。

1. セットアップユーティリティを起動し、**Internal SD Card Port**（内蔵 SD カードポート）が有効になっていることを確認します。

 **メモ:** セットアップユーティリティの **Integrated Devices** (内蔵デバイス) 画面で **Redundancy** (冗長性) オプションを **Mirror** (ミラー) モードに設定している場合は、手順 5 から 7 の手順を実行してデータ損失を避ける必要があります。

2. スリーブからブレードを取り外します。
3. 冗長性オプションが **Disabled** (無効) に設定されている場合は、障害の発生した SD カードを新しい SD カードと交換します。
4. SD カードを新しい SD カードと交換します。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。
6. セットアップユーティリティを起動し、**Internal SD Card Port** (内蔵 SD カードポート) と **Redundancy** (冗長性) モードが有効になっていることを確認します。
7. 新しい SD カードが正常に機能していることを確認します。

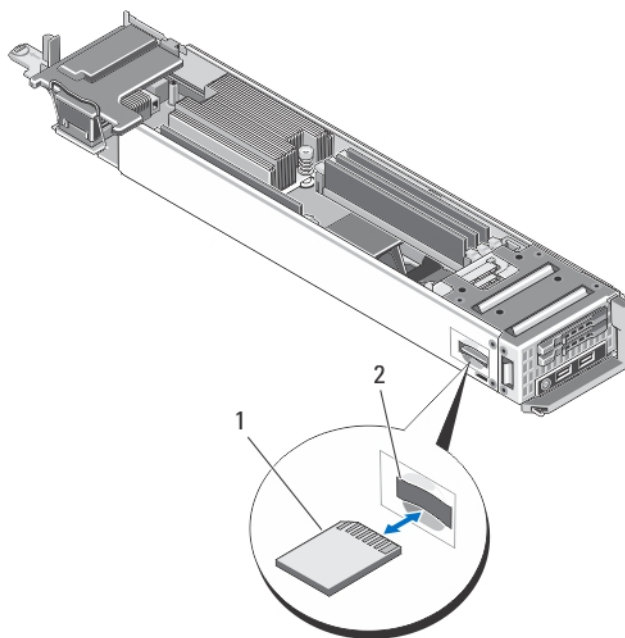


図 22. SD カードの交換

1. SD カード

2. SD カードスロット

## SD vFlash カードの交換 / 取り付け

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. SD vFlash カード / SD カードが取り付けられている場合は、カードスロットから取り外します。
3. SD vFlash カードを取り付けるには、カードラベル側を下に向けて、SD カードの接続ピン側をカードスロットに挿入します。
4. カードを押し込んでスロットにロックします。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。

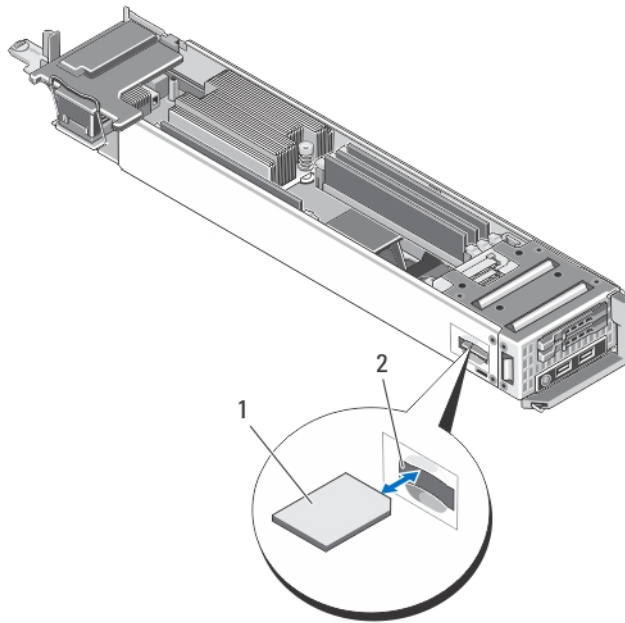


図 23. SD vFlash カードの交換 / 取り付け

1. SD vFlash カード

2. SD vFlash カードスロット

## システムのトラブルシューティング

### 作業にあたっての注意

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくはテレホンサービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

✍️ メモ: M1000e エンクロージャコンポーネントのトラブルシューティングについては、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) で Dell PowerEdge M1000e エンクロージャの『オーナーズマニュアル』の「エンクロージャに関するトラブルシューティング」を参照してください。

### システムメモリのトラブルシューティング

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

✍️ メモ: 次の手順を実行する前に、ブレードのメモリの取り付けガイドラインに従ってメモリモジュールを取り付けたことを確認します。

1. 次の手順に従ってブレードを再起動します。
  - a. 電源ボタンを1回押してブレードの電源を切ります。
  - b. 電源ボタンをもう一度押して、ブレードに電源を入れます。  
エラーメッセージが表示されない場合、手順7に進みます。
2. セットアップユーティリティを起動して、システムメモリの設定を確認します。  
取り付けられているメモリの容量がシステムメモリの設定値と一致している場合は、手順7に進みます。
3. ブレードの電源を切ります。
4. スリープからブレードを取り外します。

△ 注意: メモリモジュールは、ブレードの電源を切った後もしばらくは高温です。メモリモジュールが冷えるのを待ってから作業してください。メモリモジュールはカードの両端を持ちます。コンポーネントには指を触れないでください。

5. ソケットに装着されている各メモリモジュールを抜き差しします。
6. ブレードをスリープに取り付けます。
7. 適切な Diagnostics（診断）テストを実行します。詳細については、「システム診断プログラムの実行」を参照してください。  
テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

## ソリッドステートドライブ (SSD) のトラブルシューティング

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

△ 注意: このトラブルシューティング手順を実行すると、SSD に保存されたデータが損傷するおそれがあります。以下の手順に進む前に、可能であれば SSD 上のすべてのファイルをバックアップしてください。

1. システム診断プログラムで該当するテストを実行します。  
テストが失敗した場合は、手順 3 に進みます。
2. SSD をオフラインにして、SSD キャリアのインジケータコードが、SSD を取り外しても安全であるという信号を発するまで待ちます。次に、ブレード内の SSD キャリアを取り外して装着しなおします。
3. ブレードを再起動し、セットアップユーティリティを起動して、ドライブコントローラが有効になっていることを確認します。
4. 必要なデバイスドライバがインストールされ、正しく設定されていることを確認します。



**メモ:** ミラー状態が最適である場合、別のベイに SSD を取り付けると、ミラーが解除される場合があります。


5. SSD を取り外し、もう 1 つの SSD スロットに取り付けます。
6. 問題が解決した場合は、SSD を元のスロットに取り付けなおします。  
元のスロットで SSD が正常に機能する場合は、SSD キャリアに断続的な問題があることが想定されます。SSD キャリアを交換します。
7. SSD が起動ドライブの場合は、SSD の接続と設定が正しいことを確認します。
8. SSD のパーティション分割と論理フォーマットを実行します。
9. 可能な場合は、ファイルを SSD に復元します。  
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。


## Troubleshooting USB devices

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。


1. Ensure that the blade is turned on.
2. Check the USB device connection to the blade.
3. Swap the USB device with a known-working USB device.
4. Connect the USB devices to the blade using a powered USB hub.
5. If another blade is installed, connect the USB device to that blade. If the USB device works with a different blade, the first blade may be faulty. See [Getting Help](#).

## 内蔵 SD カードのトラブルシューティング

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **メモ:** この手順で「SD カードスロット 2」とは vFlash SD カードスロットのことです。SD カードスロット 2 に SD カードを取り付ければ、セットアップユーティリティの **Integrated Devices**（内蔵デバイス）画面で **Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションを有効に設定できます。

1. セットアップユーティリティを起動し、**Internal SD Card Port**（内蔵 SD カードポート）が有効になっていることを確認します。
2. セットアップユーティリティの **Integrated Devices**（内蔵デバイス）画面で **Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションが有効になっていることを確認してください（Mirror（ミラー）または Disabled（無効））。

 **メモ:** セットアップユーティリティで SD カードの元の設定を保持すると、スリーブにブレードを取り付けた時に、交換された SD カードが有効になります。


3. スリーブからブレードを取り外します。
4. セットアップユーティリティの **Integrated Devices**（内蔵デバイス）画面で **Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションが Mirror（ミラー）モードに設定されていて、SD カード 1 に障害が発生した場合は、次の手順に従います。
  - a. SD カードを SD カードスロット 1 から取り外します。
  - b. SD カードスロット 2 に取り付けられている SD カードを取り外し、SD カードスロット 1 に挿入します。
  - c. 新しい SD カードをスロット 2 に挿入します。
5. セットアップユーティリティの **Integrated Devices**（内蔵デバイス）画面で **Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションが Mirror（ミラー）モードに設定されていて、SD カード 2 に障害が発生した場合は、新しい SD カードを SD カードスロット 2 に挿入します。
6. セットアップユーティリティの **Integrated Devices**（内蔵デバイス）画面で **Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションが Disabled（無効）に設定されている場合は、障害の発生した SD カードを新しい SD カードと交換します。
7. ブレードをスリーブに取り付けます。
8. セットアップユーティリティを起動し、**Internal SD Card Port**（内蔵 SD カードポート）オプションが有効で、**Internal SD Card Redundancy**（内蔵 SD カードの冗長性）オプションが Mirror（ミラー）モードになっていることを確認します。
9. SD カードが正常に機能しているか確認します。  
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

## プロセッサのトラブルシューティング

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. プロセッサとヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. システムにプロセッサが 1 個だけ取り付けられている場合は、プライマリプロセッサソケット（CPU1）に取り付けられていることを確認します。
4. ブレードをスリーブに取り付けます。


5. 適切な Diagnostics (診断) テストを実行します。詳細については、「システム診断プログラムの実行」を参照してください。  
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

## ブレードのシステム基板のトラブルシューティング

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. ブレード NVRAM をクリアします。
3. それでもブレードの問題が解決しない場合は、ブレードをスリーブから取り外して取り付けなおします。
4. ブレードの電源を入れます。
5. 適切な Diagnostics (診断) テストを実行します。詳細については、「システム診断プログラムの実行」を参照してください。  
テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

## NVRAM バックアップバッテリーのトラブルシューティング


 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。


バッテリーは、ブレードの電源が切られている間、ブレード設定、日付、NVRAM の時刻情報を保持します。起動ルーチン中に間違った時刻または日付が表示されたら、場合によってはバッテリーを交換する必要があります。

バッテリーがなくてもブレードは動作可能です。ただし、この場合、ブレードの電源を切る度に、バッテリーによって NVRAM 内に保持されているブレードの設定情報が消えてしまいます。したがって、バッテリーを交換するまでは、ブレードを起動する度に、システム設定情報を再入力し、オプションを再設定する必要があります。

1. セットアップユーティリティで時刻と日付を再入力します。
2. ブレードを 1 時間以上スリーブから取り外しておきます。
3. ブレードをスリーブに取り付けます。
4. セットアップユーティリティを起動します。

セットアップユーティリティの日付と時刻が正しくない場合は、バッテリーを交換します。バッテリーを交換しても問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

 **メモ:** 長い期間 (数週間から数か月) ブレードの電源が切られていた場合、NVRAM からシステム設定情報が失われる可能性があります。これはバッテリーの不良が原因です。

 **メモ:** 一部のソフトウェアには、ブレードの時刻を進めたり遅らせたりするものがあります。セットアップユーティリティによって保持されている時刻以外はブレードが正常に動作している場合、問題の原因はバッテリーの不良ではなく、ソフトウェアにあると考えられます。


## システム診断プログラムの使い方

システムに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前にシステム診断プログラムを実行してください。システム診断プログラムを使うと、特別な装置を使用せずにシステムのハードウェアをテストでき、データが失われる心配もありません。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

### Dell Online Diagnostics

Dell Online Diagnostics, a stand-alone suite of diagnostic programs or test modules, allows you to run diagnostic tests on the systems in a production environment, and helps you ensure maximum uptime of your systems. Online Diagnostics allows you to run diagnostic tests on chassis and storage components such as hard drives, physical memory, and network interface cards (NICs). You can use the graphical user interface (GUI) or the command line interface (CLI) to run diagnostic tests on the hardware that Online Diagnostics discovers on your system. For information about using diagnostics, see the *Dell Online PowerEdge Diagnostics User's Guide* under **Software** → **Serviceability Tools**, at [dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals).

### Dell 組み込み型システム診断

 **メモ:** Dell 組み込み型システム診断は、Enhanced Pre-boot System Assessment(ePSA) 診断としても知られています。

内蔵されたこのシステム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

#### 組み込み型システム診断を使用する状況

システム内の主要なコンポーネントまたはデバイスが正しく動作していない場合、内蔵されたシステム診断プログラムを実行すると、コンポーネントの障害が示されることがあります。

#### 組み込み型システム診断の実行

内蔵されたシステム診断プログラムは、Dell Lifecycle Controller から実行します。

△ 注意: 内蔵されたシステム診断プログラムは、お使いのシステムをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のシステムで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

1. システム起動中に <F11> を押します。
2. 上下矢印キーを使用して、**System Utilities** (システムユーティリティ) → **Launch Dell Diagnostics** (**Dell Diagnostics** (診断) の起動) と選択します。  
**ePSA Pre-boot System Assessment** (ePSA 起動前システムアセスメント) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

## システム診断のコントロール

メニュー	説明
構成	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
結果	実行された全テストの結果が表示されます。
システムの正常性	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
Event Log (イベントログ)	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも1つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

組み込み型システム診断の詳細については、[dell.com/support/home](http://dell.com/support/home) の **ePSA 診断ガイド** (ノートパソコン、デスクトップ、およびサーバ) を参照してください。

## ジャンパとコネクタ





### システム基板のジャンパ設定

△ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

✎ メモ: システム基板のジャンパは管理ライザーカード上にあります。

パスワードジャンパをリセットしてパスワードを無効にする方法については、「パスワードを忘れたとき」を参照してください。

表 3. システム基板のジャンパ設定

ジャンパ	設定	説明
PWRD_EN	 (デフォルト)	パスワード機能は有効です。
		パスワード機能は無効です。
NVRAM_CLR	 (デフォルト)	構成設定がシステム起動時に保持されます。
		構成設定が次のシステム起動時にクリアされます。

### システム基板のコネクタ

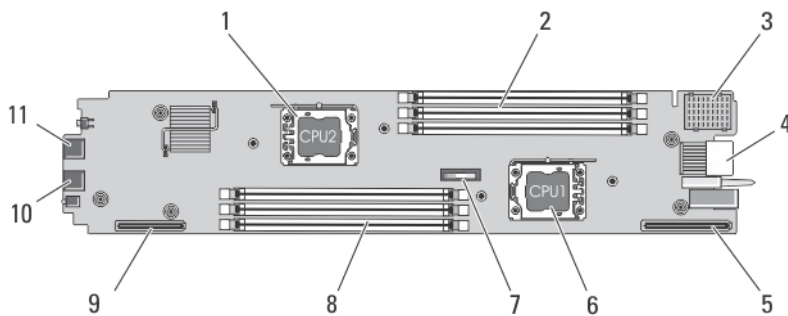


図 24. システム基板のコネクタ

表 4. システム基板のコネクタ

項目	コネクタ	説明
1	CPU2	プロセッサソケット 2
2	A1、A2、A3	メモリモジュールソケット（プロセッサ 1 用）
3	MEZZ	メザニンカードコネクタ
4	-	スリーブインタポーザカードを接続するブレードコネクタ
5	J_LOM_RISER	LOM ライザーカードコネクタ
6	CPU1	プロセッサソケット 1
7	BAT1	3.0 V コイン型バッテリー用のコネクタ
8	B1、B2、B3	メモリモジュールソケット（プロセッサ 2 用）
9	J_PERC	管理ライザーカードコネクタ
10	USB2	USB コネクタ
11	USB1	USB コネクタ

## パスワードを忘れたとき

ブレードのソフトウェアセキュリティ機能として、システムパスワードとセットアップパスワードを設定することができます。パスワードジャンパを使って、これらのパスワード機能を有効または無効に設定できるので、現在どのようなパスワードが使用されていてもクリアすることができます。

**△ 注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

1. スリーブからブレードを取り外します。
2. ジャンパに手が届くようにするために、ブレードのシステム基板を取り外します。
3. ジャンパプラグをパスワード機能を無効にする位置に移動します。
4. ブレードのシステム基板を取り付けます。
5. ブレードをスリーブに取り付けます。

ブレードがオンになっている場合、電源インジケータが緑色に点灯しています。ブレードが起動を完了するまで待ちます。

既存のパスワードは、パスワードジャンパを取り外してシステムを起動するまで無効になりません（消去されません）。ただし、新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらか一方を設定する前に、パスワードジャンパを取り付ける（有効の位置にする）必要があります。






**メモ:** ジャンパを取り外した状態のままシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらか一方を設定すると、システムは次の起動時に新しいパスワードを無効にします。

6. スリーブからブレードを取り外します。
7. ジャンパに手が届くようにするために、ブレードのシステム基板を取り外します。
8. ジャンパプラグをパスワード機能を有効にする位置に移動します。
9. ブレードのシステム基板を取り付けます。

10. ブレードをスリーブに取り付けます。
11. 新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはそのどちらか一方を設定します。

## 技術仕様

プロセッサ	
プロセッサのタイプ	1つまたは2つの Intel Xeon プロセッサ E5-2400 または E5-2400 v2 製品シリーズ
メモリ	
アーキテクチャ	1600 MT/s または 1333 MT/s の DDR3 および LV-DDR3 DIMM
メモリモジュールソケット	240 ピンソケット 6 個
メモリモジュールの容量	
RDIMM	2 GB (シングルランク)、4 GB (シングルランク / デュアルランク)、8 GB (デュアルランク)、16 GB (デュアルランク)、32 GB (クアッドランク)
UDIMM	8 GB (シングルランク)
最小 RAM	2 GB (シングルプロセッサ構成)
最大 RAM	192 GB
RAID コントローラ	
コントローラタイプ	PERC (H310) RAID
ドライブ	
SSD	1.8 インチ uSATA SSD 2 台まで
コネクタ	
前面	
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ 2 個
内蔵	
SD	ハイパーバイザ専用の内蔵 SD カード用 1 個 vFlash サポートまたは冗長ハイパーバイザ用 1 個
メザニンカード	
メザニンスロット	デュアルポート Gb イーサネット、10 Gb イーサネット、ファイバーチャネル FC8 および FC16、または

<b>メザニンカード</b>	
	Infiniband メザニンカードをサポートするメザニン PCIe x8 Gen 3 スロット 1 個
<b>ビデオ</b>	
ビデオのタイプ	Matrox G200 (iDRAC に内蔵)
ビデオメモリ	8 MB (iDRAC アプリケーションメモリと共有)
<b>バッテリー</b>	
NVRAM バックアップバッテリー	3.0 V コイン型リチウム電池 CR 2032
<b>環境</b>	
 <b>メモ:</b> 特定のシステム構成でのその他の環境条件の詳細については、 <a href="https://www.dell.com/environmental_datasheets">dell.com/environmental_datasheets</a> を参照してください。	
保管温度	1 時間当たり最大 20 °C の温度変化で -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)。
標準動作温度	連続使用 : 10 ~ 35 °C (相対湿度 10 ~ 80 パーセント、最大露点 26 °C の場合)。900 m を超える場所では 300 m 上昇するごとに最大許容乾球温度を 1 °C 下げます (1 °F/550 フィート)。
動作時の拡張温度	 <b>メモ:</b> 動作時の拡張温度範囲で使用すると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。
年間動作時間の 10 パーセント以下	 <b>メモ:</b> 拡張温度範囲でシステムを使用している際に、LCD とシステムイベントログに周囲温度の警告が報告される場合があります。
	相対湿度 5 ~ 85 パーセント、露点温度 26 °C で、5 ~ 40 °C。
	 <b>メモ:</b> 標準動作温度範囲 (10 ~ 35 °C) 外で使用する場合は、最大年間動作時間の最大 10 パーセントまで 5 ~ 40 °C の範囲で動作することができます。
	35 ~ 40 °C の場合、950 m を超える場所では 175 m 上昇するごとに最大許容乾球温度を 1 °C 下げます (1 °F/319 フィート)。
年間動作時間の 1 パーセント以下	相対湿度 5 ~ 90 パーセント、露点温度 26 °C で、-5 ~ 45 °C。
	 <b>メモ:</b> 標準動作温度範囲 (10 ~ 35 °C) 外で使用する場合は、最大年間動作時間の最大 1 パーセントまで -5 ~ 45 °C の範囲で動作することができます。

---

## 環境

---

40 ~ 45 °C の場合、950 m を超える場所では 125 m 上昇するごとに最大許容乾球温度を 1 °C 下げます (1 °F/228 フィート)。

動作時の拡張温度範囲に関する制約

デュアルプロセッサ構成はサポートされていません。

# System messages

## LCD status messages

The LCD messages consist of brief text messages that refer to events recorded in the System Event Log (SEL). For information on the SEL and configuring system management settings, see the systems management software documentation.

### Viewing LCD messages

If a system error occurs, the LCD screen will turn amber. Press the **Select** button to view the list of errors or status messages. Use the left and right buttons to highlight an error number, and press **Select** to view the error.

### Removing LCD messages




For faults associated with sensors, such as temperature, voltage, fans, and so on, the LCD message is automatically removed when that sensor returns to a normal state. For other faults, you must take action to remove the message from the display:

- Clear the SEL — You can perform this task remotely, but you will lose the event history for the system.
- Power cycle — Turn off the system and disconnect it from the electrical outlet; wait approximately 10 seconds, reconnect the power cable, and restart the system.

## システムエラーメッセージ

システムに問題がある可能性が検知されると、システムメッセージがモニターに表示されます。メッセージは、システムイベントログ (SEL) に記録されたイベントに基づきます。SEL およびシステム管理設定の詳細については、システム管理ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

一部のメッセージはシステムの LCD に短縮形でも表示されます (システムにその機能が含まれている場合)。

-  **メモ:** ここにリストアップされている LCD エラーメッセージは簡易形式で表示されます。メッセージの表示形式を選択するには、Setup Menu (セットアップメニュー) を参照してください。
-  **メモ:** ここに記載されていないシステムメッセージが表示された場合は、そのときに実行していたアプリケーションのマニュアルや、OS のマニュアルを参照して、メッセージの説明と推奨されている処置を確認してください。
-  **メモ:** 一部のメッセージでは、特定のシステムコンポーネントの名前 (<名前>)、コンポーネント番号 (<番号>)、または場所 (<ベイ>) が表示される場合があります。

エラーコード AMP0300	メッセージ情報	
	メッセージ	The system board <名前> current is less than the lower warning threshold.
	詳細	システム基板 <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0301	メッセージ	The system board <名前> current is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	System board <名前> current is outside of range.
	詳細	システム基板 <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0302	メッセージ	The system board <名前> current is greater than the upper warning threshold.
	詳細	システム基板 <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0303	メッセージ	The system board <名前> current is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	System board <名前> current is outside of range.
	詳細	システム基板 <名前> の電流が最適な範囲から外れています。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0304	メッセージ	The system board <名前> current is outside of range.
	LCD メッセージ	System board <名前> current is outside of range.
	詳細	システム基板 <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0306	メッセージ	Disk drive bay <名前> current is less than the lower warning threshold.
	詳細	ディスクドライブベイ <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0307	メッセージ	Disk drive bay <名前> current is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Disk drive bay <名前> current is outside of range.
	詳細	ディスクドライブベイ <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	
		4. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
AMP0308	メッセージ	Disk drive bay <名前> current is greater than the upper warning threshold.
	詳細	ディスクドライブベイ <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0309	メッセージ	Disk drive bay <名前> current is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	Disk drive bay <名前> current is outside of range.
	詳細	ディスクドライブベイ <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0310	メッセージ	Disk drive bay <名前> current is outside of range.
	LCD メッセージ	Disk drive bay <名前> current is outside of range.
	詳細	ディスクドライブベイ <名前> の電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	
AMP0312	メッセージ	System level current is less than the lower warning threshold.
	詳細	システムレベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0313	メッセージ	System level current is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	System level current is outside of range.
	詳細	システムレベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0314	メッセージ	System level current is greater than the upper warning threshold.
	詳細	システムレベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0315	メッセージ	System level current is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	System level current is outside of range.
	詳細	システムレベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0316	<p>メッセージ</p> <p>LCD メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>System level current is outside of range.</p> <p>System level current is outside of range.</p> <p>システムレベルの電流が最適な範囲から外れています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0318	<p>メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>Chassis power level current is less than the lower warning threshold.</p> <p>シャーシの電力レベルの電流が最適な範囲から外れています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0319	<p>メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>Chassis power level current is less than the lower critical threshold</p> <p>シャーシの電力レベルの電流が最適な範囲から外れています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0320	<p>メッセージ</p>	<p>Chassis power level current is greater than the upper warning threshold.</p>

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	シャーシの電力レベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0321	メッセージ	Chassis power level current is greater than the upper critical threshold.
	詳細	シャーシの電力レベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
AMP0322	メッセージ	Chassis power level current is outside of range.
	詳細	シャーシの電力レベルの電流が最適な範囲から外れています。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電力ポリシーを確認します。</li> <li>2. 電源関連の障害のシステムログを確認します。</li> <li>3. システム構成の変更を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
ASR0000	メッセージ	The watchdog timer expired.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0001	メッセージ	The watchdog timer reset the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムがリセットされました。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0002	メッセージ	The watchdog timer powered off the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムがシャットダウンされました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0003	メッセージ	The watchdog timer power cycled the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムの電源が切れ、入れなおされました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0008	メッセージ	The watchdog timer interrupt was initiated.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。何も処置が行われませんでした。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0100	メッセージ	The BIOS watchdog timer reset the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムがリセットされました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0101	メッセージ	The OS watchdog timer reset the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムがリセットされました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0102	メッセージ	The OS watchdog timer shutdown the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムがシャットダウンされました。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0103	メッセージ	The OS watchdog timer powered down the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムの電源が切られました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0104	メッセージ	The OS watchdog timer power-cycled the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムの電源が切れ、入れなおされました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0105	メッセージ	The operating system watchdog timer powered off the system.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。システムの電源が切られました。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0106	メッセージ	The watchdog timer expired.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
ASR0107	メッセージ	The watchdog timer pre-timeout interrupt was initiated.
	詳細	OS またはアプリケーションがタイムアウト時間内に通信できませんでした。
	対応処置	例外イベントが発生していないか、OS、アプリケーション、ハードウェア、システムのイベントログを確認します。
BAT0000	メッセージ	The system board battery is low.
	詳細	システム基板のバッテリーがないか、不良であるか、または温度が正常でないために充電できません。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	システムファンをチェックします。システム基板バッテリーを交換します。
BAT0002	メッセージ	The system board battery has failed.
	LCD メッセージ	The system board battery has failed. Check battery.
	詳細	システム基板のバッテリーがないか、または不良です。
	対応処置	「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
BAT0004	メッセージ	The system board battery is absent.
	LCD メッセージ	The system board battery is absent. Check battery.
	対応処置	システム基板のバッテリーを取り付けます。
BAT0015	メッセージ	The <名前> battery is low.
	詳細	<名前> バッテリーの充電レベルが低下していると、システムのパフォーマンスに悪影響が及ぶ場合があります。
	対応処置	可能な場合は、<名前> バッテリーを再充電します。問題が解決しない場合は、<名前> バッテリーを交換します。
BAT0017	メッセージ	The <名前> battery has failed.
	LCD メッセージ	The <名前> battery has failed. Check battery.
	詳細	<名前> バッテリーがないか、不良であるか、または温度が正常でないために充電できません。
	対応処置	システムファンをチェックします。<名前> バッテリーを交換します。
BAT0019	メッセージ	The <名前> battery is absent.
	LCD メッセージ	The <名前> battery is absent. Check battery.
	詳細	<名前> バッテリーがないか、または不良の場合、システムのパフォーマンスが低下するおそれがあります。
	対応処置	システムファンをチェックします。<名前> バッテリーを交換します。

エラーコード	メッセージ情報	
CBL0006	メッセージ	Multiple storage controllers are incorrectly connected to the same backplane <ベイ ID>.
	詳細	サポートされていないバックプレーン構成です。
	対応処置	バックプレーン構成を確認します。ケーブルを再接続します。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
CPU0000	メッセージ	CPU <番号> has an internal error (IERR).
	LCD メッセージ	CPU <番号> has an internal error (IERR).
	詳細	システムイベントログと OS のログに、例外がプロセッサの外部にあることが示される場合があります。
	対応処置	システムイベントログと OS のログを確認します。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
CPU0001	メッセージ	CPU <番号> has a thermal trip (over-temperature) event.
	LCD メッセージ	CPU <番号> has a thermal trip. Check CPU heat sink.
	詳細	プロセッサの温度が動作範囲を超えました。
	対応処置	ファンの障害がログに記録されていないか確認し、障害の発生したファンを交換します。ファンの障害が検知されない場合は、吸込温度を確認し（可能な場合）、プロセッサヒートシンクを取り付けます。
CPU0002	メッセージ	CPU <番号> has failed the built-in self-test (BIST).
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>2. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0003	メッセージ	CPU <番号> is stuck in POST.
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>2. システム構成を縮小して最小メモリにし、PCI デバイスをすべて取り外します。POST が完了する場合は、シス</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	<p>テム BIOS をアップデートします。メモリと PCI を一度に 1 枚ずつ取り付けて元の構成に戻します。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</p>
CPU0004	<p>メッセージ</p> <p>対応処置</p>	<p>CPU &lt;番号&gt; failed to initialize.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>2. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0005	<p>メッセージ</p> <p>LCD メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>CPU &lt;番号&gt; configuration is unsupported.</p> <p>CPU &lt;番号&gt; configuration is unsupported. Check CPU or BIOS revision.</p> <p>システムが起動しないか、または劣化状態で実行されます。</p> <p>仕様でサポートされているプロセッサのタイプを確認します。</p>
CPU0006	<p>メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>Unrecoverable CPU complex error detected on CPU &lt;番号&gt;.</p> <p>システムが起動しないか、または劣化状態で実行されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>2. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0008	<p>メッセージ</p> <p>詳細</p> <p>対応処置</p>	<p>CPU &lt;番号&gt; is disabled.</p> <p>システムが起動しないか、または劣化状態で実行されます。</p> <p>予期しない状況である場合は、CPU が取り付けられているかどうか、およびセットアップユーティリティ (BIOS) の設定を確認します。</p>
CPU0010	<p>メッセージ</p>	<p>CPU &lt;番号&gt; is throttled.</p>

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	熱または電源の状態が原因で、CPU の動作が調整されていません。
	対応処置	電源または熱の例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。
CPU0023	メッセージ	CPU <番号> is absent.
	LCD メッセージ	CPU <番号> is absent. Check CPU.
	対応処置	プロセッサの取り付けを確認します。プロセッサが取り付けである場合は、抜き差しします。
CPU0100	メッセージ	CPU <番号> temperature is less than the lower warning threshold.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
CPU0101	メッセージ	CPU <番号> temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	CPU <番号> temperature is outside of range.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	システムの動作環境、ファン、ヒートシンクを確認します。
CPU0102	メッセージ	CPU <番号> temperature is greater than the upper warning threshold.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	システムの動作環境、ファン、ヒートシンクを確認します。
CPU0103	メッセージ	CPU <番号> temperature is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	CPU <番号> temperature is outside of range. Check fans.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	システムの動作環境、ファン、ヒートシンクを確認します。
CPU0104	メッセージ	CPU <番号> temperature is outside of range.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	CPU <番号> temperature is outside of range. Check fans.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	システムの動作環境、ファン、ヒートシンクを確認します。
CPU0200	メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	詳細	低電圧の原因として、電圧レギュレータまたはプロセッサの問題が考えられます。低電圧のためにプロセッサが動作しないおそれがあります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0201	メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is outside of range. Re-seat CPU.
	詳細	低電圧の原因として、電圧レギュレータまたはプロセッサの問題が考えられます。臨界閾値を超えると、プロセッサは動作しません。システムの電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0202	メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	詳細	高電圧の原因として、電圧レギュレータまたはプロセッサの問題が考えられます。電圧が上昇すると、プロセッサまたはシステム内のその他の電子部品が損傷するおそれがあります。

エラーコード	メッセージ情報	対応処置
CPU0203	メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
	LCD メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is outside of range. Re-seat CPU.
	詳細	高電圧の原因として、電圧レギュレータまたはプロセッサの問題が考えられます。電圧が上昇すると、プロセッサまたはその他の電気関係のシステム部品が損傷するおそれがあります。システムの電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0204	メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is outside of range.
	LCD メッセージ	CPU <番号> <名前> voltage is outside of range. Re-seat CPU.
	詳細	電圧が許容範囲から外れると、電気関係の部品が損傷したり、システムがシャットダウンしたりする原因になります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0700	メッセージ	CPU <番号> initialization error detected.
	LCD メッセージ	CPU <番号> initialization error detected. Power cycle system.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	システム BIOS がプロセッサを初期化できませんでした。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0701	メッセージ	CPU <番号> protocol error detected.
	LCD メッセージ	CPU <番号> protocol error detected. Power cycle system.
	詳細	システムイベントログと OS のログに、例外がプロセッサの外部にあることが示される場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 例外イベントが発生していないか、システムと OS のログを確認します。例外がない場合は続行します。</li> <li>2. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>5. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0702	メッセージ	CPU bus parity error detected.
	LCD メッセージ	CPU bus parity error detected. Power cycle system.
	詳細	システムイベントログと OS のログに、例外がプロセッサの外部にあることが示される場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 例外イベントが発生していないか、システムと OS のログを確認します。例外がない場合は続行します。</li> <li>2. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>5. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0703	メッセージ	CPU bus initialization error detected.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	CPU bus initialization error detected. Power cycle system.
	詳細	システムイベントログと OS のログに、例外がプロセッサの外部にあることが示される場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 例外イベントが発生していないか、システムと OS のログを確認します。例外がない場合は続行します。</li> <li>2. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>5. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0704	メッセージ	CPU <番号> machine check error detected.
	LCD メッセージ	CPU <番号> machine check error detected. Power cycle system.
	詳細	システムイベントログと OS のログに、例外がプロセッサの外部にあることが示される場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 例外イベントが発生していないか、システムと OS のログを確認します。例外がない場合は続行します。</li> <li>2. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>5. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0801	メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module failed.
	LCD メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module failed. Re-seat module.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を 1 分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> </ol>



エラーコード	メッセージ情報	4. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
CPU0805	メッセージ	The power input for CPU <番号> voltage regulator module is outside of range, but it is attached to the system.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの電源を切り、入力電源を1分間オフにしておきます。</li> <li>2. 入力電源を入れ、システムの電源をオンにします。</li> <li>3. プロセッサが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
CPU0806	メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module is incorrectly configured.
	LCD メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module incorrectly configured. Check configuration.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	このマニュアルで正しい構成と取り付けの手順を確認します。
CPU0816	メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module is absent.
	LCD メッセージ	CPU <番号> voltage regulator module absent. Check module.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	意図して取り外したのでなければ、モジュールがあることを確認し、取り付けなおします。
HWC1001	メッセージ	The <名前> is absent.
	LCD メッセージ	The <名前> is absent. Check hardware.
	詳細	存在しないデバイスが正常な動作に必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	ハードウェアを再度取り付けるか、または接続しなおします。
HWC1002	メッセージ	The <名前> is disabled.
	対応処置	デバイスが予期せずに無効になっていた場合は、再び有効にします。
HWC1005	メッセージ	The storage adapter is absent.
	LCD メッセージ	The storage adapter is absent. Check hardware.
	詳細	正常な動作にストレージアダプタが必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	ストレージアダプタを取り付けます。
HWC1006	メッセージ	The storage adapter is disabled.
	対応処置	アダプタが予期せずに無効になっていた場合は、再び有効にします。
HWC1009	メッセージ	The backplane is absent.
	LCD メッセージ	The backplane is absent. Check hardware.
	詳細	正常な動作にバックプレーンが必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	意図して取り外したのであれば、モジュールがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC1010	メッセージ	The backplane is disabled.
	対応処置	バックプレーンが予期せずに無効になっていた場合は、再び有効にします。
HWC1015	メッセージ	The mezzanine card <番号> is absent.
	詳細	正常な動作にメザニンカードが必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	意図して取り外したのであれば、モジュールがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC2006	メッセージ	The <名前> is not installed correctly.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	The <名前> is not installed correctly. Check connection.
	詳細	正常な動作にデバイスが必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	デバイスがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC2008	メッセージ	A fabric mismatch detected between IOM and mezzanine card <番号>.
	詳細	IOM とメザニンカードのファブリックタイプが一致している必要があります。
	対応処置	CMC GUI でシャーシのファブリックタイプを確認し、IOM またはメザニンカードのタイプと比較します。
HWC2011	メッセージ	The riser board cable or interconnect is not connected, or is improperly connected.
	LCD メッセージ	Riser board cable or interconnect failure. Check connection.
	詳細	正常な動作にライザーボードケーブルが必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	ライザーボードまたは相互接続が存在することを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC3000	メッセージ	The <名前> is removed.
	詳細	取り外されたデバイスが正常な動作に必要である可能性があります。システムの機能が低下する場合があります。
	対応処置	意図して取り外したのでなければ、取り外されたデバイスがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC3002	メッセージ	Server <番号> is removed.
	対応処置	意図して取り外したのでなければ、サーバーがあることを確認し、挿入しなおします。
HWC3004	メッセージ	IO module <番号> is removed.
	対応処置	意図して取り外したのでなければ、IO モジュールがあることを確認し、挿入しなおします。

エラーコード	メッセージ情報	
HWC4000	メッセージ	A hardware incompatibility detected between BMC/iDRAC firmware and CPU.
	LCD メッセージ	Incompatibility between BMC/iDRAC firmware and CPU. Update firmware.
	詳細	BMC/iDRAC ファームウェアとプロセッサの間にハードウェアの非互換性が検知されました。iDRAC または BMC ファームウェアのアップデートが必要です。
	対応処置	BMC/iDRAC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC4002	メッセージ	A hardware incompatibility detected between BMC/iDRAC firmware and other hardware.
	詳細	BMC/iDRAC ファームウェアと他のハードウェアの間にハードウェアの非互換性が検知されました。iDRAC または BMC ファームウェアのアップデートが必要です。
	対応処置	BMC/iDRAC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC4011	メッセージ	Hardware unsuccessfully updated for mezzanine card <番号>.
	対応処置	ハードウェアがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおし、アップデートを再実行します。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC4013	メッセージ	Hardware unsuccessfully updated for embedded NIC.
	対応処置	ハードウェアがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおし、アップデートを再実行します。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC4015	メッセージ	Link Tuning error detected.
	詳細	CMC のファームウェアが古いバージョンです。ファームウェアをアップデートすると、CMC はデバイスを認識します。
	対応処置	CMC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5001	メッセージ	<名前> is offline.

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	意図して取り外したのであれば、デバイスがあることを確認し、取り付けなおすか、または接続しなおします。
HWC5002	メッセージ	A fabric mismatch detected on <名前>.
	詳細	IOM とメザニンカードのファブリックタイプが一致している必要があります。
	対応処置	CMC GUI でシャーシのファブリックタイプを確認し、IOM またはメザニンカードのタイプと比較します。
HWC5004	メッセージ	A link tuning failure detected on <名前>.
	詳細	CMC のファームウェアが古いバージョンです。ファームウェアをアップデートすると、CMC はデバイスを認識します。
	対応処置	CMC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5006	メッセージ	A failure is detected on <名前>.
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5008	メッセージ	Console is not available for the <名前>.
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5010	メッセージ	<名前> cannot detect any hosts.
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5014	メッセージ	<名前> is not functional and is powered off.
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5031	メッセージ	IO module <番号> is offline.
	詳細	CMC が IOM の電源をオフにしました。
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。

エラーコード	メッセージ情報	
HWC5032	メッセージ	A fabric mismatch detected on IO module <番号>.
	詳細	同一シャーシのファブリック上の IOM は、ファブリックタイプが一致している必要があります。
	対応処置	CMC GUI でシャーシのファブリックタイプを確認し、両方の IOM のタイプと比較します。
HWC5034	メッセージ	A link tuning failure detected on IO module <番号>.
	詳細	リンクチューニングテーブルがこの IO モジュールに対応していません。
	対応処置	CMC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC5036	メッセージ	A failure is detected on IO module <番号>.
	詳細	IOM モジュールのパフォーマンスが影響を受けるおそれがあります。
	対応処置	問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC6000	メッセージ	The <名前> controller is offline.
	詳細	コントローラの情報とステータスが不明です。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC6002	メッセージ	The <名前> controller is stuck in boot mode.
	詳細	コントローラの情報とステータスが不明です。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
HWC6003	メッセージ	The <名前> controller is booting.
HWC6004	メッセージ	Cannot communicate with <名前> controller.
	詳細	コントローラの情報とステータスが不明です。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。

エラーコード	メッセージ情報	
HWC7002	メッセージ	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。
HWC7004	メッセージ	Server <番号> health changed to a critical state from either a normal or warning state.
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。
HWC7006	メッセージ	Server <番号> health changed to a nonrecoverable state from a less severe state.
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。
HWC7008	メッセージ	Server <番号> health changed to a warning state from more severe state. Server <番号> health changed to a critical state from a non-recoverable state.
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。
HWC7010	メッセージ	Server <番号> health changed to a critical state from a nonrecoverable state.
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。
HWC7012	メッセージ	Server <番号> health changed to a nonrecoverable state.
	詳細	サーバー <番号> の状態が通常の状態から警告状態に変わりました。
	対応処置	システムログまたは前面パネルで追加情報を確認します。

エラーコード LNK2700	メッセージ情報	
	メッセージ	The <名前> LAN heartbeat is lost.
	詳細	CMC がネットワークとの接続を失いました。
	対応処置	ネットワークケーブルとネットワーク接続を確認します。
MEM0000	メッセージ	Persistent correctable memory errors detected on a memory device at location(s) <場所>.
	詳細	将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0001	メッセージ	Multi-bit memory errors detected on a memory device at location(s) <場所>.
	LCD メッセージ	Multi-bit memory error on <場所>. Re-seat memory.
	詳細	メモリモジュールに修正不能なエラーが発生しました。システムパフォーマンスが低下する場合があります。その結果、OS やアプリケーションが正常に動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0002	メッセージ	Parity memory errors detected on a memory device at location <場所>.
	詳細	メモリは機能しています。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0003	メッセージ	Stuck bit memory error detected on a memory device at location <場所>.
	詳細	将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0004	メッセージ	Memory device at location <場所> is disabled.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。メモリサイズが縮小しています。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0005	メッセージ	Persistent correctable memory error limit reached for a memory device at location(s) <場所>.
	LCD メッセージ	Persistent correctable memory error limit reached for <場所>. Re-seat memory.
	詳細	メモリは機能しています。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0007	メッセージ	Unsupported memory configuration; check memory device at location <場所>.
	LCD メッセージ	Unsupported memory configuration. Check memory <場所>.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。メモリサイズが縮小しています。
	対応処置	メモリ構成を確認します。メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0009	メッセージ	Memory device at location <場所> is throttled.
	詳細	システムパフォーマンスが低下します。
	対応処置	予期しない現象である場合は、電源または熱の例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。
MEM0010	メッセージ	Memory device at location <場所> is over heating.
	LCD メッセージ	Memory device <場所> is over heating. Check fans.
	詳細	システムパフォーマンスが低下します。
	対応処置	予期しない現象である場合は、電源または熱の例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。

エラーコード	メッセージ情報	
MEM0022	メッセージ	Memory device at location <場所> is absent.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。メモリサイズが縮小しています。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0701	メッセージ	Correctable memory error rate exceeded for <場所>.
	詳細	メモリが機能していない可能性があります。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM0702	メッセージ	Correctable memory error rate exceeded for <場所>.
	LCD メッセージ	Correctable memory error rate exceeded for <場所>. Re-seat memory.
	詳細	メモリが機能していない可能性があります。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM1001	メッセージ	Memory device at location <場所> failed to transition to a running state.
	LCD メッセージ	Memory device <場所> failed to transition to a running state. Re-seat memory
	詳細	メモリが機能していない可能性があります。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM1003	メッセージ	Memory device at location <場所> failed to transition to in test.
	詳細	メモリが機能していない可能性があります。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。

エラーコード	メッセージ情報	
MEM1012	メッセージ	Memory device at location <場所> is in a degraded state.
	詳細	メモリが機能していない可能性があります。将来修正不能なエラーが発生する可能性を示す予告です。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM1016	メッセージ	Memory device at location <場所> is not installed correctly.
	LCD メッセージ	Memory <場所> is not installed correctly. Reinstall.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。メモリサイズが縮小しています。
MEM1205	メッセージ	Memory mirror redundancy is lost. Check memory device at location(s) <場所>.
	LCD メッセージ	Memory mirror lost on <場所>. Power cycle system.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。
MEM1206	メッセージ	Memory mirror redundancy is degraded. Check memory device at location <場所>.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。
	対応処置	メモリ構成を確認します。メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM1208	メッセージ	Memory spare redundancy is lost. Check memory device at location <場所>.
	LCD メッセージ	Memory spare lost on <場所>. Power cycle system.
	詳細	

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	メモリスペアリングが使用できなくなっています。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM1212	メッセージ	Memory redundancy is lost.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。
	対応処置	メモリの例外イベントが発生してしないか、システムログを確認します。<場所>の位置にメモリを取り付けなおします。
MEM1214	メッセージ	Memory redundancy is degraded.
	詳細	メモリが正しく取り付けられていない、メモリの構成が間違っている、または障害が発生している可能性があります。
	対応処置	メモリ構成を確認します。メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
MEM8000	メッセージ	Correctable memory error logging disabled for a memory device at location <場所>.
	LCD メッセージ	SBE log disabled on <場所>. Re-seat memory.
	詳細	エラーを修正中ですが、現在は記録されていません。
	対応処置	メモリの例外イベントが発生してしないか、システムログを確認します。<場所>の位置にメモリを取り付けなおします。
OSE0000	メッセージ	A critical stop occurred during OS load.
	詳細	OS のロードまたは初期化中に発生した例外イベントのためにシステムが停止しました。
	対応処置	OS のログとシステムビデオで追加情報を確認します。
OSE0001	メッセージ	A runtime critical stop occurred.
	詳細	OS の実行中に発生した例外イベントのためにシステムが停止しました。これはカーネルパニックまたはバグチェックイベントです。
	対応処置	OS のログとシステムビデオで追加情報を確認します。
OSE0004	メッセージ	A soft shut-down initiated by platform event filter.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	別個の例外イベントまたはステータス状況が原因で、OS がシャットダウンされました (IPMI センサータイプ 20h - オフセット 04h)。
	対応処置	システムをシャットダウンできるプラットフォームイベントが発生していないか、システムイベントログを確認します。
OSE0005	メッセージ	Agent is not responding.
	詳細	システムのハードウェアまたはソフトウェアの例外イベントが原因で、BMC 経由でエージェントへの正常なシャットダウンリクエストが行われませんでした。
	対応処置	OS のログとシステムビデオで追加情報を確認します。
OSE1001	メッセージ	Failed to boot from A.
	対応処置	システム起動設定と起動メディアを確認します。a: のメディアがブータブルであることを確認します。詳細についてはシステムビデオを参照してください。
OSE1003	メッセージ	Failed to boot from C.
	対応処置	システム起動設定と起動メディアを確認します。C: のメディアがブータブルであることを確認します。詳細についてはシステムビデオを参照してください。
OSE1005	メッセージ	PXE boot failed.
	対応処置	システム起動設定、ローカル PXE 設定、PXE サーバー構成を確認します。
OSE1007	メッセージ	Diagnostic boot failed.
	対応処置	システム起動設定と起動メディアを確認します。詳細についてはシステムビデオを参照してください。
OSE1009	メッセージ	Failed to boot from CD-ROM.
	対応処置	システム起動設定と起動メディアを確認します。CDROM のメディアがブータブルであることを確認します。詳細についてはシステムビデオを参照してください。
OSE1011	メッセージ	Failed to boot from ROM.

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	追加の例外情報がないか、システムイベントログを確認します。システムの電源を切り、再び起動を試みます。
OSE1013	メッセージ	Failed to boot.
	対応処置	システム起動設定と起動メディアを確認します。詳細についてはシステムビデオを参照してください。
PCI1302	メッセージ	A bus time-out was detected on a component at bus <バス> デバイス<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。デバイスがトランザクションに反応しませんでした。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1304	メッセージ	An I/O channel check error was detected.
	LCD メッセージ	I/O channel check error detected. Power cycle system.
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1306	メッセージ	A software error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	対応処置	システムを再起動し、コンポーネントのドライバをアップデートします。
PCI1308	メッセージ	A PCI parity error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	LCD メッセージ	PCI parity error on bus <バス> device <デバイス> function <機能>. Power cycle system.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、PCI デバイスが動作しなくなるか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。

エラーコード	メッセージ情報	
PCI1310	メッセージ	A PCI system error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	LCD メッセージ	PCI system error on bus <バス> device <デバイス> function <機能>. Power cycle system.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1314	メッセージ	A bus correctable error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、スケジュールされている次の保守時期にデバイスを再び取り付けます。
PCI1316	メッセージ	A bus uncorrectable error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1318	メッセージ	A fatal error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	LCD メッセージ	Fatal error on bus <バス> device <デバイス> function <機能>. Power cycle system.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1320	メッセージ	A bus fatal error was detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	Bus fatal error on bus <バス> device <デバイス> function <機能>. Power cycle system.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1322	メッセージ	Bus performance degraded for a component at bus <バス> >device<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。バスが最大速度または最大幅で動作していません。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1342	メッセージ	A bus time-out was detected on a component at slot <番号>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1344	メッセージ	An I/O channel check error was detected.
	LCD メッセージ	An I/O channel check error was detected. Power cycle system.
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1346	メッセージ	A software error was detected on a component at slot <番号>.
	対応処置	システムを再起動し、コンポーネントのドライバをアップデートします。
PCI1348	メッセージ	A PCI parity error was detected on a component at slot <番号>.
	LCD メッセージ	PCI parity error on slot <番号>. Re-seat PCI card.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1350	メッセージ	A PCI system error was detected on a component at slot <番号>.
	LCD メッセージ	PCI parity error on slot <番号>. Re-seat PCI card.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1354	メッセージ	A bus correctable error was detected on a component at slot <番号>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	スケジュールされている次の保守時期に、入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを取り外して再び取り付けます。
PCI1356	メッセージ	A bus uncorrectable error was detected on a component at slot <番号>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1358	メッセージ	A fatal error was detected on a component at slot <番号>.
	LCD メッセージ	Fatal error on slot <番号>. Re-seat PCI card.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。

エラーコード	メッセージ情報	
PCI1360	メッセージ	A bus fatal error was detected on a component at slot <番号>.
	LCD メッセージ	Bus fatal error on slot <番号>. Re-seat PCI card.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスがリムーバブルの場合は、デバイスを再び取り付けます。
PCI1362	メッセージ	Bus performance degraded for a component at slot <番号>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。バスが最大速度または最大幅で動作していません。
	対応処置	スケジュールされている次の保守時期に、入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを取り外して再び取り付けます。
PCI2000	メッセージ	A fatal IO error detected on a component at bus <バス> >device<デバイス>function <機能>.
	LCD メッセージ	Fatal IO error on bus <バス> device <デバイス> function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを再び取り付けます。
PCI2002	メッセージ	A fatal IO error detected on a component at slot <番号>.
	LCD メッセージ	Fatal IO error on slot <番号>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下するか、またはシステムが動作しなくなるおそれがあります。
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを再び取り付けます。
PCI3000	メッセージ	Device option ROM on embedded NIC failed to support Link Tuning or FlexAddress.
	詳細	BIOS、BMC/iDRAC、LOM ファームウェアのいずれかが期限切れで、FlexAddress をサポートしていません。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	BIOS、BMC/iDRAC、および LOM ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PCI3002	メッセージ	Failed to program virtual MAC address on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	詳細	BIOS、BMC/iDRAC、LOM、NIC ファームウェアのいずれかが期限切れで、FlexAddress をサポートしていません。
	対応処置	BIOS、BMC/iDRAC、LOM、およびメザニンカードファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PCI3004	メッセージ	Device option ROM on mezzanine card <番号> failed to support Link Tuning or FlexAddress.
	詳細	BIOS、BMC/iDRAC、メザニンカードファームウェアのいずれかが期限切れで、FlexAddress をサポートしていません。
	対応処置	BIOS、BMC/iDRAC、およびメザニンカードファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PCI3006	メッセージ	Failed to get Link Tuning or FlexAddress data from iDRAC.
	詳細	BIOS または BMC/iDRAC ファームウェアのいずれかが期限切れで、FlexAddress をサポートしていません。
	対応処置	BIOS および BMC/iDRAC ファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PCI3008	メッセージ	A non-fatal PCIe error detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	今回のサービスウィンドウが表示された時に、入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを取り外して再び取り付けます。
PCI3010	メッセージ	A non-fatal IO error detected on a component at bus <バス>device<デバイス>function <機能>.
	詳細	システムパフォーマンスが低下する場合があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	<p>今回のサービスウィンドウが表示された時に、入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを取り外して再び取り付けます。</p>
PCI3012	メッセージ	The QuickPath Interconnect (QPI) width degraded.
	詳細	<p>システムパフォーマンスが低下する場合があります。バスが最大速度または最大幅で動作していません。</p>
	対応処置	<p>システムをリセットし、問題が解決しない場合はプロセッサを取り付けなおします。</p>
PCI3014	メッセージ	A non-fatal PCIe error detected on a component at slot <番号>.
	詳細	<p>システムパフォーマンスが低下する場合があります。</p>
	対応処置	<p>スケジュールされている次の保守時期に、入力電源を切って入れなおし、コンポーネントのドライバをアップデートし、デバイスを取り外して再び取り付けます。</p>
PDR0001	メッセージ	Fault detected on drive <番号>.
	LCD メッセージ	Fault detected on drive <番号>. Check drive.
	詳細	<p>コントローラがディスクに障害を検知し、ディスクをオフラインにしました。</p>
	対応処置	<p>障害の発生したディスクを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</p>
PDR0002	メッセージ	A predictive failure detected on drive <番号>.
	詳細	<p>コントローラがドライブから SMART エラーの情報を受けました。ドライブは動作しますが、交換が必要です。</p>
	対応処置	<p>今回のサービスウィンドウが表示された時に、ドライブの交換が必要です。</p>
PDR0016	メッセージ	Drive <番号> is removed.
	LCD メッセージ	Drive <番号> is removed. Check drive.
	詳細	<p>コントローラがドライブの取り外しを検知しました。</p>

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	意図して取り外したのであれば、ドライブの取り付けを確認します。表示されたディスクを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PDR1001	メッセージ	Fault detected on drive <番号> in disk drive bay <ベイ>.
	LCD メッセージ	Fault detected on drive <番号> in disk drive bay <ベイ>. Check drive.
	詳細	コントローラがディスクに障害を検知し、ディスクをオフラインにしました。
	対応処置	障害の発生したドライブを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PDR1002	メッセージ	A predictive failure detected on drive <番号> in disk drive bay<ベイ>.
	詳細	コントローラがドライブから SMART エラーの情報を受けました。ドライブは動作しますが、交換が必要です。
	対応処置	次のサービスウィンドウが表示された時に、ドライブの交換が必要です。
PDR1016	メッセージ	Drive <番号> is removed from disk drive bay <ベイ>.
	LCD メッセージ	Drive <番号> removed from disk drive bay <ベイ>. Check drive.
	詳細	コントローラがドライブの取り外しを検知しました。
	対応処置	ドライブの取り付けを確認します。障害の発生したドライブを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PDR1024	メッセージ	Drive mismatch detected for drive <番号> in disk drive bay <ベイ>.
	LCD メッセージ	Drive mismatch detected for drive <番号> in bay <ベイ>. Install correct drive type.
	詳細	取り付けられているディスクがアレイの要件を満たしていません。たとえば、SATA ディスクは SAS ドライブが含まれているアレイでは機能しない場合があります。
	対応処置	ディスクがアレイの要件を満たしていることを確認します。
PST0128	メッセージ	No memory is detected.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	No memory is detected. Inspect memory devices.
	詳細	システム BIOS がシステム内にメモリを検知できませんでした。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0129	メッセージ	Memory is detected, but is not configurable.
	LCD メッセージ	Memory is detected, but is not configurable. Check memory devices.
	詳細	システム BIOS がメモリを検知しましたが、システムが動作するようにメモリを設定できませんでした。
	対応処置	システムメモリが取り付けられている状態をサポートされているシステムメモリの構成と比較します。
PST0130	メッセージ	Memory is configured, but not usable.
	LCD メッセージ	Memory is configured, but not usable. Check memory devices
	詳細	システム BIOS がデバイスの障害、またはメモリが使用されなくなる速度設定を検知しました。
	対応処置	メモリモジュールを抜き差しします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0131	メッセージ	System BIOS shadow failed.
	LCD メッセージ	System BIOS shadow failed. Check memory devices.
	詳細	BIOS イメージをシステムメモリにコピーする際にメモリエラーが発生しました。
	対応処置	入力電源を切ります。システムメモリを減らして最小構成にし、入力電源を入れます。
PST0132	メッセージ	CMOS failed.
	LCD メッセージ	CMOS failed. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS が POST 中に CMOS メモリの障害を検知しました。
	対応処置	CMOS バッテリーの例外イベントが発生していないか、システムイベントログを確認します。入力電源を切り、再びオン

エラーコード	メッセージ情報	
		にします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0133	メッセージ	DMA controller failed.
	LCD メッセージ	DMA controller failed. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS が POST 中に DMA コントローラの障害を検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。
PST0134	メッセージ	Interrupt controller failed.
	LCD メッセージ	Interrupt controller failed. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS が POST 中に割り込みコントローラの障害を検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0135	メッセージ	Timer refresh failed.
	LCD メッセージ	Timer refresh failed. Power cycle system..
	詳細	システム BIOS が POST 中にタイマーリフレッシュのエラーを検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0136	メッセージ	Programmable interval timer error.
	LCD メッセージ	Programmable interval timer error. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS が POST 中にプログラム可能インターバルタイマーの障害を検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0137	メッセージ	Parity error.
	LCD メッセージ	Parity error. Power cycle system.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	POST 中にシステム BIOS がパリティエラーを検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0138	メッセージ	SuperIO failed.
	LCD メッセージ	SuperIO failure. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS が SIO の障害を検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0139	メッセージ	Keyboard controller failed.
	LCD メッセージ	Keyboard controller failed. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS がキーボードコントローラの障害を検知しました。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0140	メッセージ	System management interrupt initialization failed.
	LCD メッセージ	SMI initialization failed. Power cycle system.
	詳細	システム BIOS がシステム管理割り込みを初期化できませんでした。
	対応処置	入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0141	メッセージ	QuickPath Interconnect (QPI) fatal error.
	LCD メッセージ	QuickPath Interconnect (QPI) fatal error.
	詳細	POST 中に Quick Path インターコネクトが失敗しました。
	対応処置	システムを再起動します。問題が解決しない場合は、システムの電源を切り、プロセッサを抜き差しします。
PST0142	メッセージ	MRC fatal error.
	LCD メッセージ	Memory initialization error.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	BIOS のメモリテストが失敗しました。
	対応処置	システムメモリが取り付けられている状態をサポートされているシステムメモリの構成と比較します。システム構成を最小メモリ構成に縮小します。
PST0143	メッセージ	Intel Trusted Execution Technology (TXT) fatal error.
	LCD メッセージ	Intel Trusted Execution Technology (TXT) fatal error.
	詳細	TXT 起動が失敗しました。これは、メモリエラーまたはシステム TXT 構成のエラーと関連している可能性があります。ソケットに挿入された TPM モジュールが取り外されている可能性があります。
	対応処置	TPM があることを確認します。入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0192	メッセージ	Shut-down test failed.
	LCD メッセージ	Shut-down test failed. Power cycle system.
	詳細	POST 中にシステム BIOS のシャットダウンテストが失敗しました。
	対応処置	CMOS バッテリーの例外イベントが発生していないか、システムイベントログを確認します。入力電源を切り、再びオンにします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0193	メッセージ	BIOS POST memory test failed.
	LCD メッセージ	BIOS POST memory test failed. Check memory devices.
	詳細	システム BIOS の POST メモリテストが失敗しました。
	対応処置	システムメモリが取り付けられている状態をサポートされているシステムメモリの構成と比較します。システム構成を最小メモリ構成に縮小します。
PST0194	メッセージ	Remote access controller configuration failed.
	LCD メッセージ	Remote access controller configuration failed. Check screen message.
	詳細	システム BIOS が Remote Access Controller を設定できませんでした。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	入力電源を切って入れなおし、システムの電源を入れます。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PST0195	メッセージ	CPU configuration failed.
	LCD メッセージ	CPU configuration failed. Check screen message.
	詳細	現在のプロセッサ構成がサポートされていないか、または POST 中に致命的な例外イベントが発生しました。
	対応処置	システムのプロセッサ構成を確認し、システム構成を最小にします。
PST0196	メッセージ	Incorrect memory configuration.
	LCD メッセージ	Incorrect memory configuration. Review User Guide.
	詳細	システム BIOS が無効な取り付け方がされているメモリを検知しました。
	対応処置	サポートされているメモリ構成に一致するようにメモリを取り付けなおします。
PST0254	メッセージ	General failure after video.
	LCD メッセージ	General failure after video. Check screen message.
	詳細	システム BIOS が POST 中に機能または構成上の問題を検知しました。
	対応処置	システムビデオを確認し、イベントログに追加情報がないか確認します。
PST0256	メッセージ	POST fatal error detected.
	LCD メッセージ	POST fatal error detected.
	詳細	システム BIOS が POST 中に機能または構成上の問題を検知しました。
	対応処置	システムビデオを確認し、イベントログに追加情報がないか確認します。
PSU0001	メッセージ	Power supply <番号> failed.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	PSU <番号> failed. Check PSU.
	対応処置	電源ユニットを取り外し、取り付けなおします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU0002	メッセージ	A predictive failure detected on power supply <番号>.
	LCD メッセージ	Predictive failure on PSU <番号>. Check PSU.
	詳細	システムパフォーマンスと電源の冗長性が低下するか、または失われる可能性があります。
	対応処置	次のサービスウィンドウが表示された時に、電源ユニットを取り外し、取り付けなおします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU0003	メッセージ	The power input for power supply <番号> is lost.
	LCD メッセージ	Power input for PSU <番号> is lost. Check PSU cables.
	詳細	電源ユニットは正しく取り付けられていますが、入力電源が接続されていないか、機能していません。
	対応処置	入力電源が電源ユニットに接続されていることを確認します。入力電源が電源ユニットの動作要件を満たしていることを確認します。
PSU0004	メッセージ	The power input for power supply <番号> is outside of the allowable range.
	LCD メッセージ	Power input for PSU <番号> is outside of range. Check PSU cables.
	詳細	電源ユニットの動作要件はこのマニュアルまたは電源ユニット自体に記載されている可能性があります。
	対応処置	入力電源が電源ユニットに接続されていることを確認します。入力電源が電源ユニットの動作要件を満たしていることを確認します。
PSU0005	メッセージ	The power input for power supply <番号> is outside of the allowable range, but it is attached to the system.
	詳細	電源ユニットの動作要件はこのマニュアルまたは電源ユニット自体に記載されている可能性があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	入力電源が電源ユニットの動作要件を満たしていることを確認します。
PSU0006	メッセージ	Power supply <番号> type mismatch.
	LCD メッセージ	Power supply <番号> is incorrectly configured. Check PSU.
	詳細	電源ユニットは入力タイプと電力定格が一致している必要があります。
	対応処置	一致している電源ユニットを取り付け、このマニュアルで正しい構成を確認します。
PSU0007	メッセージ	Power supply <番号> is operating at 110 volts, and could cause a circuit breaker fault.
	詳細	220V で動作するように設計されている電源ユニットが 110V の電源に接続されている場合は、動作に必要な電力が不足しています。不足している電源を補うと、回路ブレーカが落ちるか、または入力電源に他の電気的な問題が発生する可能性があります。
	対応処置	入力電源とケーブル接続を確認します。推奨されている入力電源を使用してください。このマニュアルを確認します。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU0008	メッセージ	Power supply <番号> voltage rating does not match the system's requirements.
	詳細	このシステムでは電圧の異なる電源ユニットを併用できません。
	対応処置	正しい定格電圧の電源ユニットを取り付けます。
PSU0016	メッセージ	Power supply <番号> is absent.
	LCD メッセージ	PSU <番号> is absent. Check PSU.
	詳細	電源ユニットが取り外されているか、または故障していません。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットを取り外し、取り付けなおします。</li> <li>2. システムのケーブルやサブシステムコンポーネントに損傷がないか確認します。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	
		3. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU0031	メッセージ	Cannot communicate with power supply <番号>.
	LCD メッセージ	Cannot communicate with PSU <番号>. Re-seat PSU.
	詳細	電源ユニットは動作する可能性があります。電源ユニットの監視機能が劣化します。システムパフォーマンスが劣化する場合があります。
	対応処置	電源ユニットを取り外し、取り付けなおします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU1201	メッセージ	Power supply redundancy is lost.
	詳細	電源ユニットは劣化状態での動作を試みます。システムパフォーマンスと電源の冗長性が劣化するか、または失われる可能性があります。
	対応処置	入力電源を確認します。電源ユニットを取り付けなおします。問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
PSU1202	メッセージ	Power supply redundancy is degraded.
	詳細	電源ユニットは劣化状態での動作を試みます。システムパフォーマンスと電源の冗長性が劣化するか、または失われる可能性があります。
	対応処置	次のサービスウィンドウが表示された時に、入力電源を取り外し、取り付けなおします。
PSU1203	メッセージ	The power supplies are not redundant.
	LCD メッセージ	Lost PSU redundancy. Check PSU cables.
	詳細	電源ユニットの例外イベント、電源ユニットのインベントリ変更、またはシステム電源のインベントリ変更のために、現在の電源動作モードは非冗長です。
	対応処置	電源ユニットの障害が発生していないか、イベントログを確認します。システム構成と電力消費を確認します。
PSU1204	メッセージ	The power supplies are not redundant. Insufficient resources to maintain normal operations.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	PSU redundancy degraded. Check PSU cables.
	詳細	電源ユニットの例外イベント、電源ユニットのインベントリ変更、またはシステム電源のインベントリ変更のために、現在の電源動作モードは非冗長です。
	対応処置	電源ユニットの障害が発生していないか、イベントログを確認します。システム構成と電力消費を確認します。
PWR1001	メッセージ	The system performance was degraded.
	LCD メッセージ	System performance degraded. Check PSUs and system configuration.
	詳細	シャットダウンを回避するために、システムパフォーマンスが低下しています。
	対応処置	過熱または環境上のエラーや警告が発生していないか、システム構成とシステムログを確認します。
PWR1002	メッセージ	The system performance degraded because of thermal protection.
	詳細	シャットダウンを回避するために、システムパフォーマンスが低下しています。
	対応処置	過熱または環境上のエラーや警告が発生していないか、システム構成とシステムログを確認します。
PWR1003	メッセージ	The system performance degraded because cooling capacity has changed.
	詳細	現在の電源ユニット構成は、冗長性を有効にするプラットフォーム要件を満たしていません。1 台の電源ユニットに障害が発生すると、システムがシャットダウンするおそれがあります。
	対応処置	意図した状態でない場合は、システム構成と電力消費を確認し、電源ユニットを正しい構成で取り付けます。電源ユニットのステータスにエラーがないか確認します。
PWR1004	メッセージ	The system performance degraded because power capacity has changed.
	詳細	システムの電源が切れるか、またはパフォーマンスが低下した状態で動作する可能性があります。
	対応処置	電源ユニットの障害が発生していないか、イベントログを確認します。システム構成と電力消費を確認し、電源ユニット

エラーコード	メッセージ情報	を正しくアップグレードするか、または正しく取り付けます。
PWR1005	メッセージ	The system performance degraded because the user-defined power capacity has changed.
	詳細	ユーザー定義の電力設定によってシステムの動作が影響を受けました。
	対応処置	意図した状態でない場合は、システム構成の変更と電力ポリシーを確認します。
PWR1006	メッセージ	The system halted because system power exceeds capacity.
	LCD メッセージ	System power demand exceeds capacity. System halted.
	詳細	システム電源が限度を超えたため、システムが停止しました。
	対応処置	システム構成を確認し、電源ユニットをアップグレードするか、システムの電力消費を減らします。
PWR1007	メッセージ	The system performance degraded because power exceeds capacity.
	LCD メッセージ	System power exceeds capacity. Performance degraded. Check PSU configuration.
	詳細	電源のシャットダウンを防ぐために、システムは現在パフォーマンスが低下した状態で動作しています。
	対応処置	システム構成を確認し、電源ユニットをアップグレードするか、システムの電力消費を減らします。
PWR1008	メッセージ	The system performance degraded because power draw exceeds the power threshold.
	LCD メッセージ	System power exceeds threshold. Performance degraded. Check PSU configuration.
	詳細	電力しきい値はユーザーが設定するか、またはシステム構成に基づいてソフトウェアによって自動的に設定されます。
	対応処置	システム構成を確認し、電源ユニットをアップグレードするか、システムの電力消費を減らします。
RFM1003	メッセージ	Removable Flash Media <名前> is not IPMI-function ready.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	リムーバブルフラッシュメディアが取り付けられています が、設定が正しくないか、初期化ができませんでした。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアとモジュールを取り付けなおします。
RFM1005	メッセージ	Removable Flash Media <名前> is not ready.
	詳細	メディアが準備中か、またはメンテナンス中です。問題が解決しない場合は、カードを取り付けなおします。
	対応処置	メディアの準備ができるまで待ちます。
RFM1006	メッセージ	Removable Flash Media <名前> is offline.
	詳細	起動時の CID (Card Identification) 署名が非揮発性 (NV) のストレージ値と異なるか、またはカードが進行中のコピー操作のコピー先になっています。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1008	メッセージ	Failure detected on Removable Flash Media <名前>.
	LCD メッセージ	Removable Flash Media <名前> failed. Check SD Card.
	詳細	SD カードの読み取りまたは書き込み中にエラーが報告されました。
	対応処置	フラッシュメディアを抜き差しします。問題が解決しない場合は、メディアを交換します。
RFM1014	メッセージ	Removable Flash Media <名前> is write protected.
	LCD メッセージ	Removable Flash Media <名前> is write protected. Check SD Card.
	詳細	カードは SD カード上の物理的なラッチによって書き込み防止にされています。書き込み防止のカードは使用できません。
	対応処置	意図した状態でない場合は、メディアを取り出し、書き込み防止を解除します。
RFM1016	メッセージ	Media not present for Removable Flash Media <名前>.
	詳細	SD カードが検知されないか、または取り付けられていません。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1021	メッセージ	Removable Flash Media is not IPMI-function ready.
	詳細	リムーバブルフラッシュメディアが取り付けられていますが、設定が正しくないか、初期化ができませんでした。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1022	メッセージ	Removable Flash Media is ready.
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1023	メッセージ	Removable Flash Media is not ready.
	詳細	メディアが準備中か、またはメンテナンス中です。問題が解決しない場合は、カードを取り付けなおします。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1024	メッセージ	Removable Flash Media is offline.
	詳細	起動時のCID (Card Identification) 署名が非揮発性 (NV) のストレージ値と異なるか、またはカードが進行中のコピー操作のコピー先になっています。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1026	メッセージ	Failure detected on Removable Flash Media.
	詳細	SD カードの読み取りまたは書き込み中にエラーが報告されました。
	対応処置	フラッシュメディアを取り付けなおします。問題が解決しない場合は、メディアを交換します。
RFM1032	メッセージ	Removable Flash Media is write protected.
	詳細	カードはSDカード上の物理的なラッチによって書き込み防止にされています。IDSDM は書き込み防止のカードを使用できません。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	意図した状態でない場合は、メディアを取り出し、書込み防止を解除します。
RFM1034	メッセージ	Media not present for Removable Flash Media.
	詳細	SD カードが検知されないか、または取り付けられていません。
	対応処置	意図した状態でない場合は、フラッシュメディアを取り付けなおします。
RFM1201	メッセージ	Internal Dual SD Module redundancy is lost.
	LCD メッセージ	Internal Dual SD Module redundancy is lost. Check SD Card.
	詳細	片方または両方の SD カードが正常に機能していません。
	対応処置	障害の発生した SD カードを交換します。
RFM1202	メッセージ	Internal Dual SD Module redundancy is degraded.
	詳細	片方または両方の SD カードが正常に機能していません。
	対応処置	障害の発生した SD カードを交換します。
RFM1203	メッセージ	Internal Dual SD Module is not redundant.
	詳細	内蔵デュアル SD モジュールが冗長性を欠いています。
	対応処置	冗長性が必要な場合は、追加の SD カードを取り付け、冗長構成にします。
RFM1205	メッセージ	Internal Dual SD Module is not redundant. Insufficient resources to maintain normal operations.
	LCD メッセージ	Internal Dual SD Module is not redundant. Insufficient resources. Check SD Card.
	詳細	現在の動作構成では冗長性を維持できません。ユニットは劣化状態で動作する可能性があります。
	対応処置	このマニュアルと SD カードの構成を確認します。
RFM2001	メッセージ	Internal Dual SD Module <名前> is absent.
	LCD メッセージ	Internal Dual SD Module <名前> is absent. Check SD Card.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	SD カードモジュールが検知されないか、または取り付けられていません。
	対応処置	意図した状態でない場合は、SD モジュールを取り付けなおします。
RFM2002	メッセージ	Internal Dual SD Module <名前> is offline.
	詳細	SD カードモジュールは取り付けられていますが、正しく取り付けられていないか、設定が正しくない可能性があります。
	対応処置	SD モジュールを取り付けなおします。
RFM2004	メッセージ	Failure detected on Internal Dual SD Module <名前>.
	LCD メッセージ	Internal Dual SD Module <名前> failed. Check SD Card.
	詳細	SD カードモジュールが取り付けられていますが、設定が正しくないか、初期化ができませんでした。
	対応処置	SD モジュールを取り付けなおし、SD カードを抜き差しします。
RFM2006	メッセージ	Internal Dual SD Module <名前> is write protected.
	詳細	モジュールが書き込み防止になっています。メディアに変更を書き込むことができません。
	対応処置	意図した状態でない場合は、メディアを取り出し、書き込み防止を解除します。
SEC0003	メッセージ	The processor area is open.
	詳細	プロセッサエリアが開いています。1 台のドライブが追加されているか取り外されている可能性があります。システムパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	プロセッサエリアを閉じます。システムログを確認します。
SEC0004	メッセージ	The LAN is disconnected.
	詳細	LAN が切断されています。ネットワークパフォーマンスが低下する場合があります。
	対応処置	意図した状態でない場合は、ネットワークケーブルを接続します。
SEC0040	メッセージ	A critical stop occurred during OS load.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	OSによってクリティカルストップ IPMI イベントが生成されました（センサータイプコード = 20H）。
	対応処置	ビデオと OS のログに追加情報がないか確認します。
SEC0041	メッセージ	BIOS detected an error configuring the Intel Trusted Execution Technology (TXT).
	LCD メッセージ	BIOS detected an error configuring TXT. Check system configuration.
	詳細	TXT 初期化障害。システム構成が変化した可能性があります。
	対応処置	システムのハードウェアインベントリとソフトウェア設定を確認します。
SEC0042	メッセージ	Processor detected an error while performing an Intel Trusted Execution Technology (TXT) operation.
	LCD メッセージ	CPU detected an error while performing a TXT operation. Check system configuration.
	詳細	TXT CPU マイクロコードの起動失敗。システム構成が変化した可能性があります。
	対応処置	システムのハードウェアインベントリとソフトウェア設定を確認します。
SEC0043	メッセージ	BIOS Authenticated Code Module detected an Intel Trusted Execution Technology (TXT) error during POST.
	LCD メッセージ	BIOS detected a TXT error during POST. Check system configuration.
	詳細	TXT POST エラー。システム構成が変化した可能性があります。
	対応処置	システムのハードウェアインベントリとソフトウェア設定を確認します。
SEC0044	メッセージ	SINIT Authenticated Code Module detected an Intel Trusted Execution Technology (TXT) error at boot.
	LCD メッセージ	SINIT detected a TXT error at boot. Check system configuration.
	詳細	TXT 初期化障害。システム構成が変化した可能性があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	システムのハードウェアインベントリとソフトウェア設定を確認します。
SEC0600	メッセージ	A secure mode violation detected.
	詳細	これは物理的またはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEC0602	メッセージ	User password violation detected.
	詳細	これは物理的またはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEC0604	メッセージ	A setup password violation detected.
	詳細	これは物理的またはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEC0606	メッセージ	The network boot password violation detected.
	詳細	これは物理的またはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEC0608	メッセージ	A password violation detected.
	詳細	これは物理的またはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEC0610	メッセージ	An Out-of-band password violation detected.
	詳細	これはリモートのアクセス試行に該当する可能性があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	侵入が試みられた形跡がないかシステムログを確認し、強力なパスワードポリシーを確保します。
SEL0002	メッセージ	Logging is disabled.
	詳細	このメッセージは、特定タイプのイベントログをユーザーが無効にした時に表示されます。
	対応処置	意図した状態でない場合は、ログを再び有効にします。
SEL0006	メッセージ	All event logging is disabled.
	詳細	このメッセージは、すべてのイベントログをユーザーが無効にした時に表示されます。
	対応処置	意図した状態でない場合は、ログを再び有効にします。
SEL0008	メッセージ	Log is full.
	詳細	イベントログがいっぱいの場合、以降のイベントはログに書き込まれません。古いイベントが上書きされて失われる可能性があります。このメッセージは、ユーザーがイベントログを無効にした時にも表示される場合があります。
	対応処置	ログをバックアップしてクリアします。
SEL0010	メッセージ	Log is almost full.
	詳細	イベントログがいっぱいの場合、以降のイベントはログに書き込まれません。古いイベントが上書きされて失われる可能性があります。
	対応処置	次のメンテナンス時にログをバックアップしてクリアします。
SEL0012	メッセージ	Could not create or initialize the system event log.
	詳細	システムイベントログが初期化できなかった場合、プラットフォームステータスとエラーイベントはキャプチャされません。一部の管理ソフトウェアはプラットフォームの例外を報告しません。
	対応処置	管理コントローラまたは iDRAC を再起動します。システム入力電源を切って入れなおします。問題が解決しない場合は、サポートにご連絡ください。
SEL1204	メッセージ	An unknown system hardware failure detected.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	Unknown system hardware failure.
	詳細	システムイベントログが初期化できなかった場合、プラットフォームステータスとエラーイベントはキャプチャされません。一部の管理ソフトウェアはプラットフォームの例外を報告しません。
	対応処置	システムをサポートされている最小構成に再構成します。問題が解決しない場合は、サポートにご連絡ください。
SEL1209	メッセージ	The platform event filter action failed.
	詳細	システムポリシーまたはシステム許可により、操作の実行が妨げられる場合があります。設定済みの場合、システムはプラットフォームイベント（電源の切断、電源サイクル、割り込み、アラートの送信など）に基づいて操作を実行しません。
	対応処置	プラットフォームイベントの設定を確認します。
SEL1211	メッセージ	The time-stamp clock could not be synchronized.
	詳細	システムイベントログイベントのタイムスタンプがシステムタイムと一致しない場合があります。
	対応処置	システム入力電源を切って入れなおします。問題が解決しない場合は、サポートにご連絡ください。
SEL1300	メッセージ	No bootable media found.
	詳細	セットアップユーティリティにシステムの起動順序が表示されます。ローカルビデオ画面には追加情報も表示される場合があります（IPMI センサータイプコード 1eh - オフセット 00h）。
	対応処置	システム起動設定を確認します。大容量ストレージコントローラの構成設定が適用可能かどうかを確認します。
SEL1302	メッセージ	Non-bootable diskette detected.
	詳細	ドライブ内のディスクが正しくフォーマットされていないか、必要な OS ファイルがディスクに格納されていません。
	対応処置	ディスクレットをブータブルディスクと交換します。
SEL1304	メッセージ	The PXE server not found.
	詳細	PXE はシステムをネットワークから起動する 1 つの方法です。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	ネットワークおよび PXE サーバーの構成を確認します。
SEL1306	メッセージ	Invalid boot sector found.
	詳細	ドライブ内のディスクが正しくフォーマットされていないか、必要な OS ファイルがディスクに格納されていません。
	対応処置	ディスクをブータブルディスクと交換します。
SEL1308	メッセージ	A time-out occurred while waiting for user to select a boot source.
	詳細	システムが OS の起動に失敗しました。ユーザーが起動元を選択する必要があります。
	対応処置	指定時間内に起動元を選択します。
SEL1501	メッセージ	Chassis management controller (CMC) redundancy is lost.
	詳細	CMC の冗長性を無効にする操作またはエラーが発生しました。
	対応処置	CMC ネットワークケーブルとネットワーク接続を確認します。CMC ファームウェアのバージョンが一致することを確認します。
SEL1502	メッセージ	Chassis management controller (CMC) redundancy is degraded.
	詳細	CMC の冗長性を無効にする操作またはエラーが発生しました。
	対応処置	CMC ネットワークケーブルとネットワーク接続を確認します。CMC ファームウェアのバージョンが一致することを確認します。
SEL1504	メッセージ	The chassis management controller (CMC) is not redundant. Insufficient resources to maintain normal operations.
	詳細	2 つの CMC が動作するのに十分な電力がありません。
	対応処置	全体的な電力消費と電源ステータスを確認します。
SEL1506	メッセージ	Lost communications with Chassis Group Member <番号>.
	詳細	プライマリ CMC が、表示されているメンバー CMC との通信を失いました。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	ネットワークケーブルとネットワーク接続を確認します。
SEL1508	メッセージ	Member <番号> could not join the Chassis Group.
	詳細	表示されているメンバー CMC は別の CMC スタッキンググループのリーダーです。
	対応処置	メンバー CMC が別のシャーシグループのリーダーかどうかを確認します。
SEL1510	メッセージ	An authentication error detected for Chassis Group Member <番号>.
	詳細	グループマスター CMC がグループメンバー CMC にログインできませんでした。
	対応処置	CMC のログイン資格情報を確認します。
SEL9900	メッセージ	An unsupported event occurred.
	詳細	現在のソフトウェアバージョンはこのイベントを解釈できません。Ipmitool と -vvv オプションまたは Racadm と -E オプションなど、raw データを表示するツールを使用して、このイベントを確認する必要があります。
	対応処置	管理ソフトウェアをアップグレードします。
SWC4004	メッセージ	A firmware or software incompatibility detected between iDRAC in slot <番号> and CMC.
	詳細	FlexAddress がファームウェアのバージョンの 1 つに実装されていません。
	対応処置	iDRAC と CMC のファームウェアバージョンを確認します。最新バージョンでアップデートします。
SWC4006	メッセージ	A firmware or software incompatibility detected between system BIOS in slot <番号> and CMC.
	詳細	FlexAddress がファームウェアのバージョンの 1 つに実装されていません。
	対応処置	BIOS と CMC のファームウェアバージョンを確認します。最新バージョンでアップデートします。
SWC4008	メッセージ	A firmware or software incompatibility detected between CMC 1 and CMC 2.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	FlexAddress がファームウェアのバージョンの 1 つに実装されていません。ファームウェアをアップデートしてください。
	対応処置	ファームウェアバージョンを確認します。CMC 1 と CMC 2 のファームウェアが一致するようにアップデートします。
SWC5001	メッセージ	<名前> upgrade failed.
	対応処置	システムを再起動し、アップグレードを再試行します。
TMP0100	メッセージ	The system board <名前> temperature is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	System board <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0101	メッセージ	The system board <名前> temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	System board <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0102	メッセージ	The system board <名前> temperature is greater than the upper warning threshold
	LCD メッセージ	System board <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システム基板 <名前> の温度が最適な範囲から外れています。ファンを確認します。
TMP0103	メッセージ	The system board <名前> temperature is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	System board <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	システム基板 <名前> の温度が最適な範囲から外れています。 ファンを確認します。
TMP0104	メッセージ	The system board <名前> temperature is outside of range.
	LCD メッセージ	System board <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか低すぎるかのどちらかです。
	対応処置	システム基板 <名前> の温度が最適な範囲から外れています。 ファンを確認します。
TMP0106	メッセージ	The memory module <番号> temperature is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0107	メッセージ	The memory module <番号> temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0108	メッセージ	The memory module <番号> temperature is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システム基板 <名前> の温度が最適な範囲から外れています。 ファンを確認します。
TMP0109	メッセージ	The memory module <番号> temperature is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> temperature is outside of range. Check Fans.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも1台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システム基板 <名前> の温度が最適な範囲から外れています。ファンを確認します。
TMP0110	メッセージ	The memory module <番号> temperature is outside of range.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか低すぎるかのどちらかです。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0112	メッセージ	The <名前> temperature is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0113	メッセージ	The <名前> temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0114	メッセージ	The <名前> temperature is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> temperature is outside of range. Check Fans
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも1台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0115	メッセージ	The <名前> temperature is greater than the upper critical threshold.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	The <名前> temperature is outside of range. Check Fans
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0116	メッセージ	The <名前> temperature is outside of range.
	LCD メッセージ	The <名前> temperature is outside of range. Check Fans
	詳細	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0118	メッセージ	The system inlet temperature is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	System inlet temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0119	メッセージ	The system inlet temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	System inlet temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0120	メッセージ	The system inlet temperature is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	System inlet temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0121	メッセージ	The system inlet temperature is greater than the upper critical threshold.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	System inlet <名前> temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0122	メッセージ	The system inlet temperature is outside of range.
	LCD メッセージ	System inlet <名前> temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか低すぎるかのどちらかです。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0100	メッセージ	Disk drive bay temperature is less than the lower warning threshold.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0104	メッセージ	Disk drive bay temperature is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Disk drive bay temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0126	メッセージ	Disk drive bay temperature is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	Disk drive bay temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0128	メッセージ	Disk drive bay temperature is outside of the allowable range.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	Disk drive bay temperature is outside of range. Check Fans.
	詳細	室温が高すぎるか低すぎるかのどちらかです。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0130	メッセージ	The control panel temperature is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	Control panel temperature is outside of range.
	詳細	室温が低すぎます。
	対応処置	システムの動作環境を確認します。
TMP0132	メッセージ	The control panel temperature is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	Control panel temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか、または少なくとも 1 台のファンに障害が発生している可能性があります。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
TMP0134	メッセージ	The control panel temperature is outside of the allowable range.
	LCD メッセージ	Control panel temperature is outside of range.
	詳細	室温が高すぎるか低すぎるかのどちらかです。
	対応処置	システムの動作環境を確認し、イベントログにファンの障害が記録されていないか確認します。
VLT0100	メッセージ	Processor module <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。

エラーコード	メッセージ情報	
VLT0101	対応処置	<p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
	メッセージ	Processor module <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
VLT0102	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
	メッセージ	Processor module <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。</li> </ol>	

エラーコード	メッセージ情報	
		3. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
VLT0103	メッセージ	Processor module <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。  複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。 2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。 3. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
VLT0104	メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of the allowable range.
	LCD メッセージ	Processor module <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。  複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。 2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。 3. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
VLT0200	メッセージ	The system board <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	System board voltage is outside of range.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。
		複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. プロセッサモジュールを取り外します。プロセッサソケットに曲がっているピンがないか点検します。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0201	メッセージ	The system board <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	System board voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。
		複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0202	メッセージ	The system board <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	System board voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。
		複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0203	メッセージ	The system board <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	System board voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0204	メッセージ	The system board <名前> voltage is outside of the allowable range.
	LCD メッセージ	System board voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0206	メッセージ	The memory module <番号> <名前> voltage is less than the lower warning threshold.

エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0207	メッセージ	The memory module <番号> <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0208	メッセージ	The memory module <番号> <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0209	メッセージ	The memory module <番号> <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0210	メッセージ	The memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	
VLT0212	メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0213	メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0214	メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。

エラーコード	メッセージ情報	複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0215	メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	The disk drive bay <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。 複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0216	メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。 複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	
		3. 問題が解決しない場合は、「 <a href="#">困ったときは</a> 」を参照してください。
VLT0218	メッセージ	The <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0219	メッセージ	The <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0220	メッセージ	The <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.

エラーコード	メッセージ情報	
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0221	メッセージ	The <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0222	メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	LCD メッセージ	The <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> </ol>

エラーコード	メッセージ情報	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0224	メッセージ	The memory module <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0225	メッセージ	The memory module <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0226	メッセージ	The memory module <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.


エラーコード	メッセージ情報	
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0227	メッセージ	The memory module <名前> voltage is greater than the upper critical threshold.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0228	メッセージ	The memory module <名前> voltage is outside of range.
	LCD メッセージ	Memory module <番号> <名前> voltage is outside of range.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>

エラーコード	メッセージ情報	
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. システムを最小構成に再構成し、システムケーブルを点検して取り付けなおします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0230	メッセージ	The mezzanine card <番号> <名前> voltage is less than the lower warning threshold.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. メザニンカードを抜き差しします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0231	メッセージ	The mezzanine card <番号> <名前> voltage is less than the lower critical threshold.
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. メザニンカードを抜き差しします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0232	メッセージ	The mezzanine card <番号> <名前> voltage is greater than the upper warning threshold.
	詳細	システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。

エラーコード	メッセージ情報	<p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. メザニンカードを抜き差しします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0233	メッセージ	<p>The mezzanine card &lt;番号&gt; &lt;名前&gt; voltage is greater than the upper critical threshold.</p>
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. メザニンカードを抜き差しします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>
VLT0234	メッセージ	<p>The mezzanine card &lt;番号&gt; &lt;名前&gt; voltage is outside of range.</p>
	詳細	<p>システムハードウェアが電圧が高すぎるかまたは低すぎる状態を検知しました。</p> <p>複数の電圧例外イベントが連続して発生すると、システムはフェイルセーフモードになって電源が切れる場合があります。</p>
	対応処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ユニットの例外イベントが発生していないか、システムログを確認します。</li> <li>2. メザニンカードを抜き差しします。</li> <li>3. 問題が解決しない場合は、「<a href="#">困ったときは</a>」を参照してください。</li> </ol>

## Warning messages

A warning message alerts you to a possible problem and prompts you to respond before the system continues a task. For example, before you format a hard drive, a message warns you that you may lose all data on the hard drive. Warning messages usually interrupt the task and require you to respond by typing y (yes) or n (no).

 **メモ:** 警告メッセージはアプリケーションまたはオペレーティングシステムにより生成されます。詳細については、オペレーティングシステムまたはアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

## Diagnostic messages


The system diagnostic utilities may issue messages if you run diagnostic tests on your system. See [Running The Embedded System Diagnostics](#) for more information about system diagnostics.

## アラートメッセージ

システム管理ソフトウェアは、システムのアラートメッセージを生成します。アラートメッセージには、ドライブ、温度、ファン、および電源の状態についての情報、ステータス、警告、およびエラーメッセージがあります。詳細については、システム管理ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 困ったときは

### デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [dell.com/support](https://dell.com/support) にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域** の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。